

第2次たつの市子ども読書活動推進計画

令和4年4月

たつの市

目次

| | |
|---------------------------------|----|
| はじめに | 1 |
| 第1章 第2次計画の策定にあたって | 2 |
| 1 子どもの読書活動の意義 | 2 |
| 2 第2次計画策定の趣旨 | 2 |
| 3 たつの市における子どもの読書活動の現状 | 4 |
| 第2章 第2次計画の基本的な考え方 | 8 |
| 1 計画の目的 | 8 |
| 2 計画の対象 | 8 |
| 3 計画の期間 | 8 |
| 4 計画の基本方針 | 8 |
| 5 スローガンとイメージ図 | 9 |
| 第3章 子どもの読書活動の推進のための取組 | 10 |
| 1 家庭における子どもの読書活動の推進 | 10 |
| 2 地域における子どもの読書活動の推進 | 11 |
| (1) 子育て関連機関における推進 | 11 |
| (2) 放課後児童クラブにおける推進 | 13 |
| 3 学校園等における子どもの読書活動の推進 | 14 |
| (1) 幼稚園・保育園(所)・こども園における推進 | 14 |
| (2) 小学校・中学校における推進 | 17 |
| (3) 高等学校における推進 | 21 |
| (4) 特別支援学校における推進 | 22 |
| 4 市立図書館における子どもの読書活動の推進 | 24 |
| 5 関係機関の連携・協力 | 34 |
| 【資料】 | 37 |
| 「子どもの読書活動に関するアンケート調査」 | 37 |
| 子どもの読書活動の推進に関する法律 | 50 |

はじめに

読書は人間の成長を支えるものです。乳幼児期から思春期に至るまでの読書体験は、言葉と想像力を育み、自分の頭で考えて判断する軸をつくり、さらに自分なりの世界観や価値観を形成します。変化の激しい社会にあって、地球規模の視野、歴史的な視点や多元的な視点で物事を考え、未知の事態にも的確に対応していく力をつけてくれます。

しかしながら、読書の習慣は多くの場合、自然に身につくものではありません。そのため、家庭、地域、学校園、図書館が連携し、子どもの発達段階に応じて、子ども自身が読書の楽しさを知るきっかけを作り、読書の幅を広げ、読書体験を深められるような環境を整備することが重要です。

このことから、国及び県においては、「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づいて、「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」や「ひょうご子どもの読書活動推進計画」を策定し、社会全体で子どもの読書活動の推進に取り組んでいます。

本市においても、国や県の計画の趣旨にのっとり、一人ひとりの子どもが、自ら考え自立し、豊かな人間性をもって幸福に生きることを願い、「第2次たつの市子どもの読書活動推進計画」を策定しました。

令和4年4月

たつの市教育委員会

第1章 第2次計画の策定にあたって

1. 子どもの読書活動の意義

子どもの読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠かすことのできないものです。そして、読書活動を推進していくためには、子どもの発達段階に応じた読書に親しむための環境づくりが必要です。

乳児期は、言葉の土台をつくる時期です。親や身近な人と気持ちを通い合わせ、安心感や信頼感を得る中で、しぐさや音声が、言葉に置き換えられていきます。安定した人間関係の中で、大人の語りかけやわらべうた・子守唄が言葉の土台となります。

学齢期以前の字の読めない時期は、読書活動において大きな意味を持つ読書の揺籃期です。大人が本格的に「読み聞かせ」という形で子どもの読書に関わるのに最適な時期です。文字を覚える前の、耳から聞いた言葉を心に刻む能力は大きく、絵本や物語の中の主人公に自分を重ね合わせてお話を楽しむことで、子どもの世界は飛躍的に広がります。その延長に学齢期があり、想像力を刺激し自分の世界を広げてくれる昔話やファンタジーなど空想の世界に遊ぶ楽しさを心の中に蓄えていくことが望まれます。思春期には生き方を探り、深く考える時期として一人ひとりの内的要求に合った読み応えのある本をじっくり読んで欲しい時期です。

このように、子どもの「生きる力」を育み、心豊かに生きる基盤となる読書活動を、子どもの成長期の基礎教育として捉えることは、子ども自身の将来のためにも、そしてこれからの社会の発展のためにも極めて重要です。

2. 第2次計画策定の趣旨

国においては、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的・計画的な推進を図り、子どもの健やかな成長に資することを目的として、平成13年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が施行されました。同法に基づき、平成14年8月に、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、環境整備を積極的に推進することを基本理念とする「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」が策定されました。その後、平成20年3月に第二次基本計画、平成25年5月に第三次基本計画、平成30年4月に「第四次子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」（第四次基本計画）※

が策定され、家庭や地域、学校等の連携・協力を重視した施策が展開されています。

兵庫県においては、国の基本計画に基づき、平成 16 年 3 月に「ひょうご子どもの読書活動推進計画」が策定されました。その後、平成 21 年 9 月に第 2 次計画、平成 27 年 3 月に第 3 次計画、令和 2 年 3 月に第 4 次計画が策定され、子どもの本への関心を高め、読書習慣の定着を図るため、「ひょうご子どもの読書活動アクションプラン事業」が実施されています。

本市では、国や県の動向を踏まえ、「第 2 次たつの市総合計画（前期基本計画）」に基づき、平成 30 年 1 月に「たつの市子どもの読書活動推進計画」（第 1 次計画）を策定し、地域社会全体で子どもの読書活動を推進するための取組を実施してきました。

この度、第 1 次計画が令和 3 年度末をもって 5 年間の計画期間を満了することから、これまでの取組の成果や課題を検証するため、令和 3 年 10 月に市内の学校園や教育関係機関を対象に子どもの読書活動についてのアンケート調査を実施しました。

また、第 1 次計画の期間中には、少子高齢化や人口減少の進行、グローバル化の進展、地球温暖化に伴う気候変動、SDGs（持続可能な開発目標）の推進、ICT（情報通信技術）の進展、新型コロナウイルス感染症の流行等さまざまな社会情勢の変化がありました。

さらに、令和元年 6 月に「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（読書バリアフリー法）」が施行され、障害の有無にかかわらず、すべての子どもが等しく読書を通じて文字・活字文化の恩恵を享受することができるように読書環境への配慮が求められるようになりました。

これらの社会情勢や子どもの読書活動を取り巻く状況の変化等を踏まえ、「第 2 次たつの市総合計画（後期基本計画）」に基づき、本市の子どもの読書活動をより一層推進するために第 1 次計画を改定し、今後 5 年間の基本的方針を定める「第 2 次たつの市子どもの読書活動推進計画」を策定します。

※「子ども」と「子供」の表記について

国（文部科学省）では、第四次基本計画から「子供」が漢字表記になりました。本市では、「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、「子ども」と表記しています。

3. たつの市における子どもの読書活動の現状

本市における子どもの読書活動の実態を把握するため、令和3年10月に市内の小・中学校の児童・生徒、就学前4・5歳児の保護者を対象に、子どもの読書活動に関するアンケート調査※を実施しました。

※子どもの読書活動に関するアンケート調査

市内小学校17校の児童、中学校6校の生徒、幼稚園・保育園（所）・こども園31園所、各園所の4・5歳児の保護者を対象に実施。アンケート結果は p.37～p.49 に掲載。

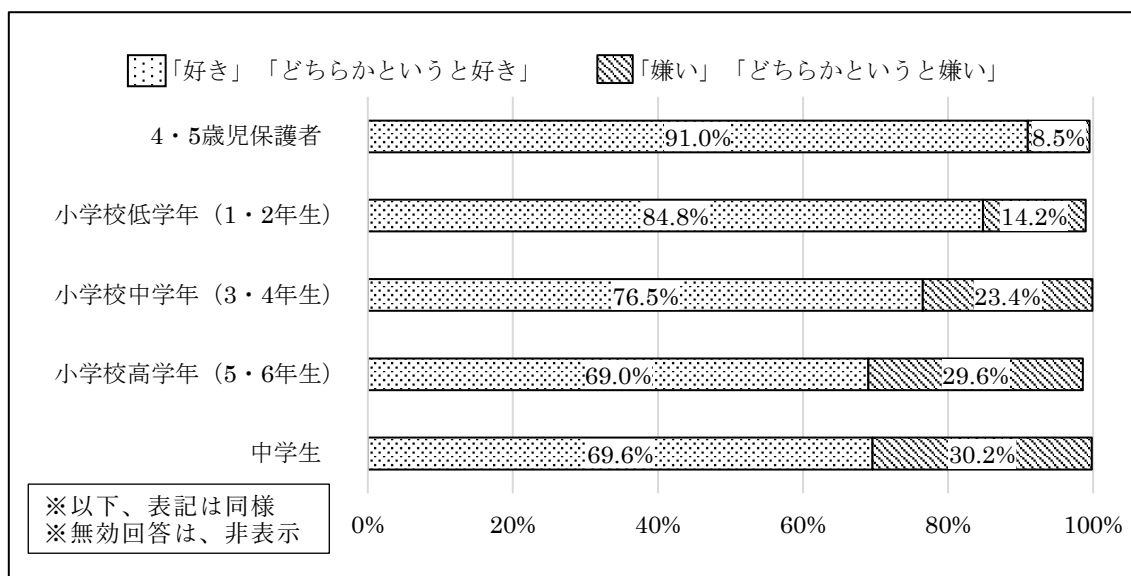
(1) 読書に対する意識（読書が好きか嫌いか）

「本を読むのは好きですか」という質問に対して、「好き」「どちらかという好き」と答えた児童・生徒は、小学校低学年では84.8%、小学校中学年では76.5%、小学校高学年では69.0%、中学生では69.6%でした。

一方、「嫌い」「どちらかという嫌い」と答えた児童・生徒は、小学校低学年で14.2%、小学校中学年で23.4%、小学校高学年で29.6%、中学生で30.2%でした。

本市では、小・中学生の各学年を通じて7～8割の児童・生徒が読書が好きだと思っていることがわかります。年齢で比較してみると、学年が上がるにつれて「好き」の割合が少しずつ減少し、「嫌い」の割合が増加していく傾向にあります。また、自分の子ども（4・5歳児対象）は、本を読むのが「好きだと思う」「どちらかという好きだと思う」と感じている保護者は91.0%と高い数値を示しています。

読書が好きか嫌いか

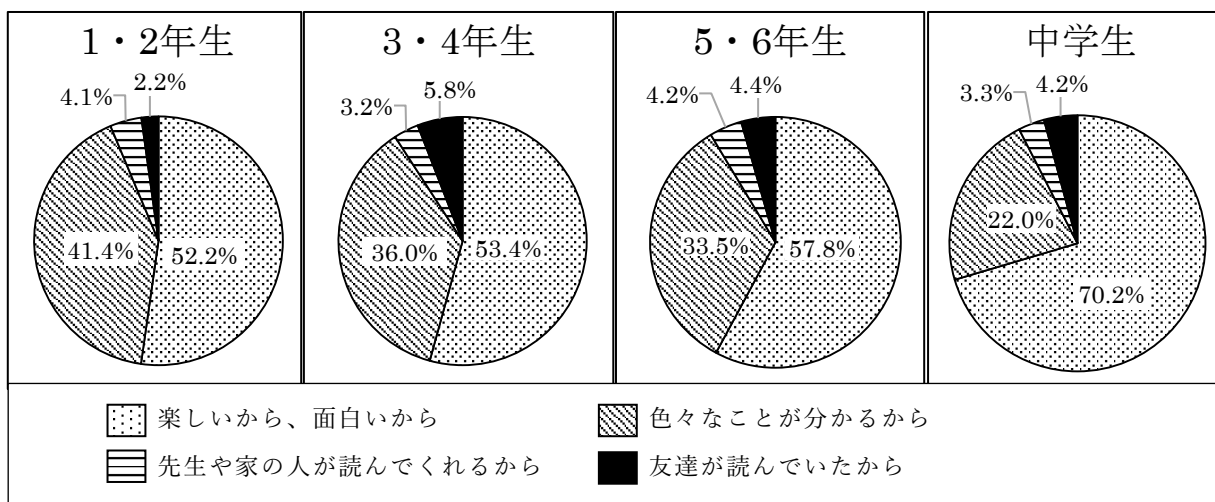


(2) 本を読む理由、読まない理由

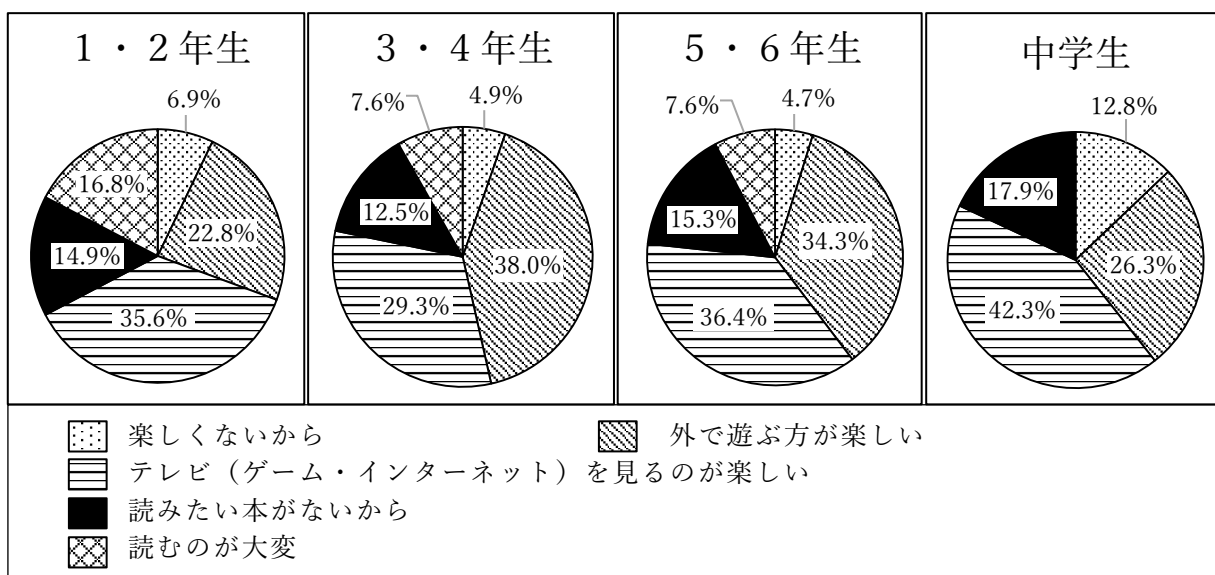
本を読むのが「好き」「どちらかという好き」と答えた児童・生徒に、その理由を聞くと、どの学年も「楽しいから、面白いから」という回答が最も多く、次いで「色々なことが分かるから」を挙げています。

一方、本を読むのが「嫌い」「どちらかという嫌い」と答えた児童・生徒に、その理由を聞くと、小学校中学年では「外で遊ぶ方が楽しい」という回答が最も多く、それ以外の小学校低学年・小学校高学年・中学生では「テレビ（ゲーム・インターネット）を見るのが楽しい」という回答が最も多くなっており、電子メディア・映像メディアの急速な普及が影響しているものと考えられます。

本が好きな理由



本が嫌いな理由



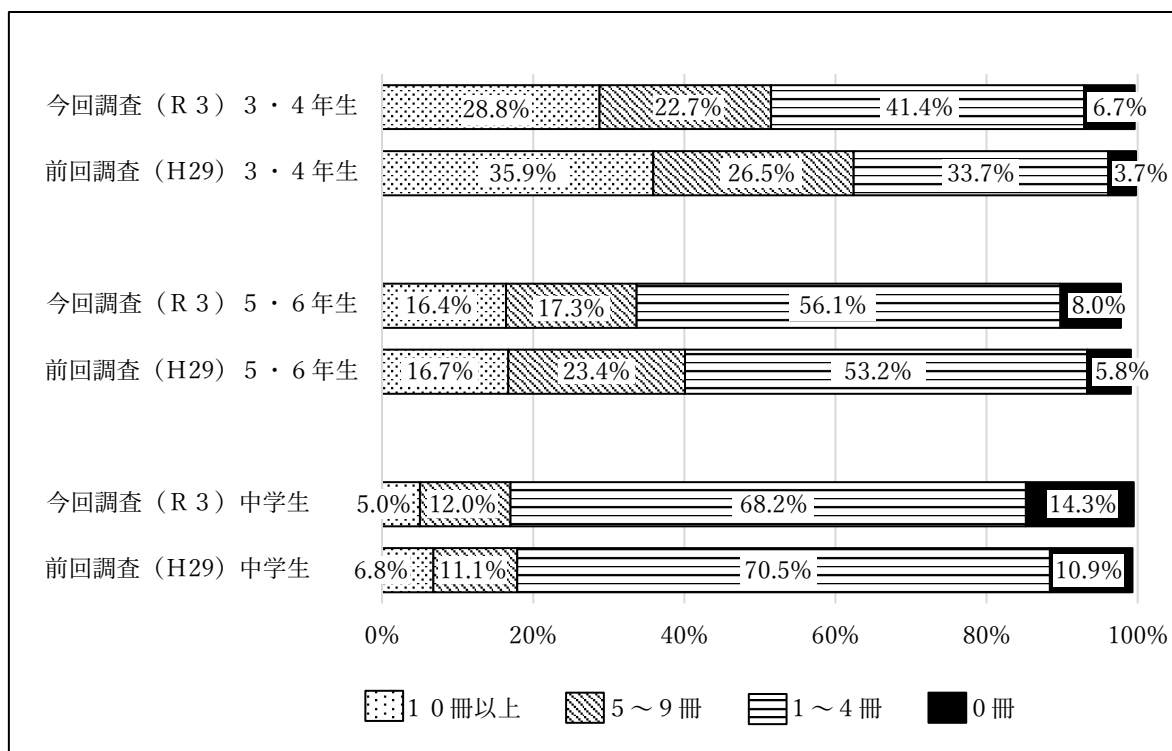
(3) 読書量

① 1か月に読む冊数の割合（小学校中学年以上を対象に調査）

1か月に何冊ぐらい本を読むかという質問では、1か月に5冊以上本を読むと回答した児童・生徒が小学校中学年で51.5%、小学校高学年で33.7%、中学生では17.0%でした。成長するにつれ、1冊であっても内容が専門的であったり、読み応えのある本を読んでいる場合は、冊数が少なくなることがあるため、一概に冊数で押し量ることはできませんが、学年が上がるほど読む冊数は少なくなる傾向にあります。

全く本を読まない児童・生徒の割合（不読率）は、小学校中学年で6.7%、小学校高学年で8.0%、中学生で14.3%と、前回調査よりも増加傾向にあります。

1か月に読む冊数



令和3年度の全国学校図書館協議会「第66回 学校読書調査[※]」では、小学生の不読率は5.5%、中学生の不読率は10.1%という調査結果が出ており、全国平均と比較すると、本市では不読率の割合は、小学校中学年・小学校高学年・中学生ともにやや高くなっています。

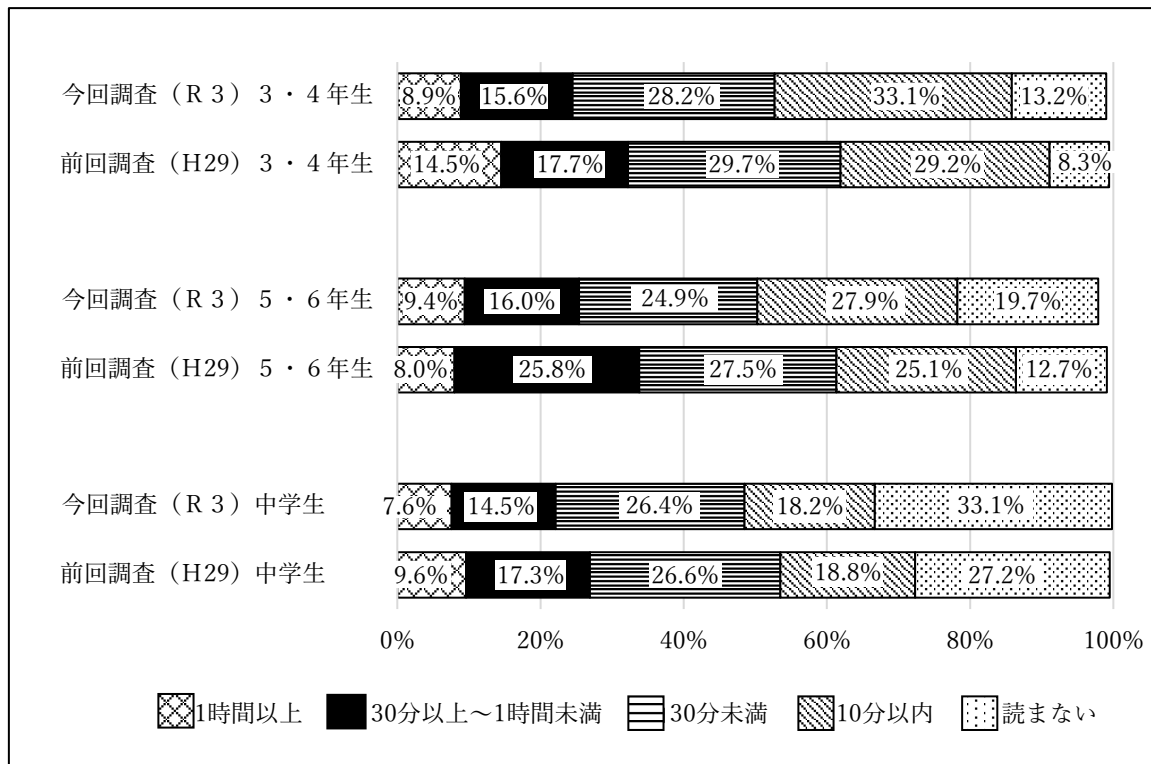
※【学校読書調査】 全国学校図書館協議会と毎日新聞社が共同で実施している全国の小・中・高等学校の児童生徒の読書状況についての調査

② 1日のうち本を読む時間（小学校中学年以上を対象に調査）

朝の読書など学校で一斉に読む読書以外で、1日にどれくらいの時間本を読んでいるかという質問では、「全く読まない」と答えた児童・生徒は小学校中学年で13.2%、小学校高学年で19.7%、中学生では33.1%でした。前回調査では、小学校中学年で8.3%、小学校高学年で12.7%、中学生では27.2%だったことから、どの年代も不読率が上昇しています。年齢が高くなるほど不読率は上昇し、特に中学生では約3割の生徒が、本に接していない現状がうかがえます。

不読率が最も高い中学生を対象に、読書をする時間が取れない理由を聞くと、「テレビ・DVD・インターネット・スマートフォン・ゲームなど」と答えた生徒が最も多く、次いで「部活」を挙げています（p.47）。また、1日のうちでテレビ・DVD・インターネット・スマートフォン・ゲームなどの電子メディア・映像メディアに接している時間についての問いでは、「1時間以上電子メディア・映像メディアに接している」と答えた生徒が89.7%と高い数値を示しています（p.47）。さらに、1日に本を読む時間を聞くと、1時間以上と答えた生徒は7.6%であったことから（p.46）、本を読む時間よりはるかに多い時間、電子メディア・映像メディアに触れていることが推測されます。

1日のうち本を読む時間



第2章 第2次計画の基本的な考え方

1. 計画の目的

たつの市のすべての子どもたちが、いつでも、どこでも本に親しむための読書環境を整え、豊かな読書活動を行うことができるよう支援することを目的とします。

2. 計画の対象

0歳から18歳までのすべての子どもを対象とします。

3. 計画の期間

令和4年度から令和8年度までの5年間とします。

4. 計画の基本方針

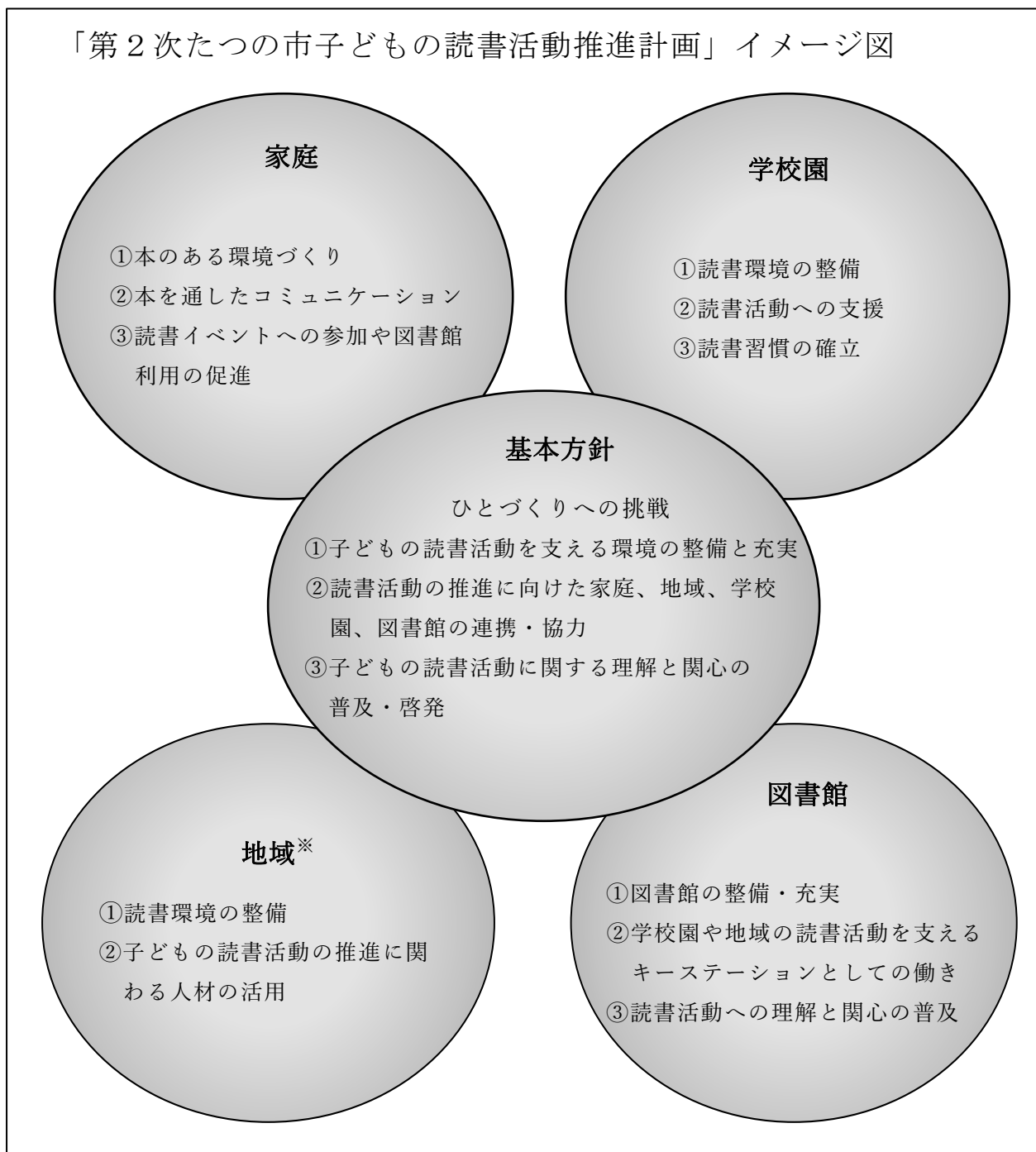
～ひとづくりへの挑戦～

- ・子どもの読書活動を支える環境の整備と充実
- ・読書活動の推進に向けた家庭、地域、学校園、図書館の連携・協力
- ・子どもの読書活動に関する理解と関心の普及・啓発



5. スローガンとイメージ図

スローガン ～本との出会いが未来を育む～



※地域…子育て関連機関、放課後児童クラブ、公民館、民生・児童委員、ボランティア団体、各種地域団体等

第3章 子どもの読書活動の推進のための取組

基本方針「ひとづくりへの挑戦」に基づき、家庭・地域・学校園及び図書館が、それぞれの立場において、子どもの読書活動を推進するために取り組みます。

なお、「第1次たつの市子どもの読書活動推進計画」における取組みの評価については、各取組項目を点検し、評価点に換算して、その平均値を以下の評価ランク（A～D）で表しています。

- A 十分な取組がなされた
- B 相当程度の取組がなされた
- C 取組がやや不十分である
- D 取組が不十分である

1. 家庭における子どもの読書活動の推進

① 子どもの読書活動の推進における家庭の役割

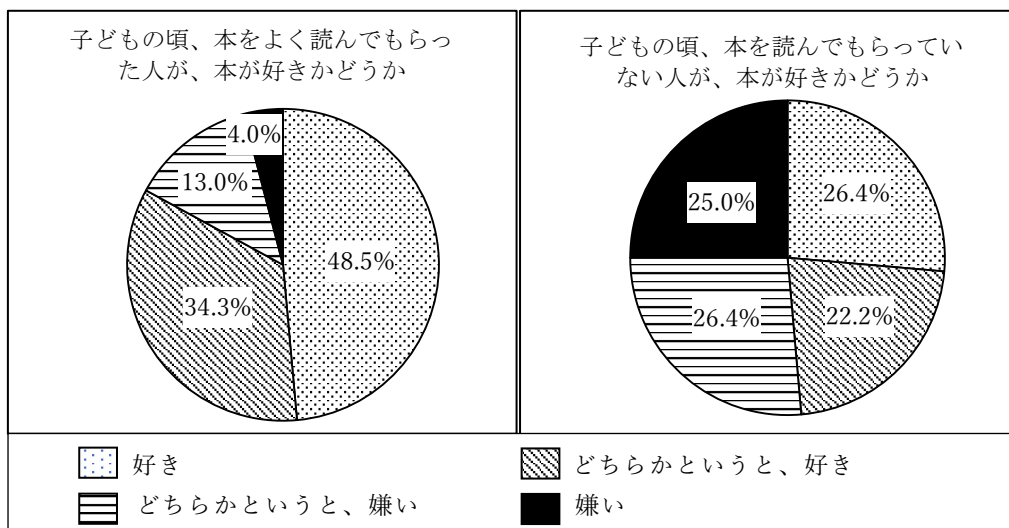
家庭は、子どもの生活の基盤となる場所であり、そこで与えられる価値観、習慣、生活様式は人間形成の基本となります。

特に、乳幼児期の絵本の読み聞かせは、読み手と聞き手による人間同士の信頼関係を培い、人や言葉への信頼・関心を育てていきます。家庭において、子どもが本に親しむきっかけを作り、子どもの発達段階に応じた読書環境作りに取り組むことで読書習慣が自然に身につくような働きかけが求められます。

「子どもの読書活動に関するアンケート調査」によると、子どもの頃、家庭で本を読んでもらっていて読書が「好き」「どちらかというが好き」と答えた小学校中学年以上の児童・生徒は82.8%、反対に子どもの頃、本を読んでもらっていなかったが読書が「好き」「どちらかというが好き」と答えた小学校中学年以上の児童・生徒は48.6%という結果になっています。

このように、子どもが本に親しみ、進んで読書をする習慣を身に付けられるかは、家庭環境が影響していることがわかります。

家庭での読書環境



② 第2次計画での家庭における子どもの読書活動への関わり

家庭で、子どもを中心に本を媒介として、家族全員が読書に親しむ環境を作ること、相互理解を深め、家族の絆が一層深まることを目指します。

4・5歳児の保護者へのアンケートでは、「読書（読み聞かせ）は子どもの健やかな成長に重要であると思いますか」という問いに対して「とても重要」「ある程度重要」と答えた保護者は、98.4%ととても高い割合で読書の重要性を認識しています。しかしながら共働き家庭の増加等、社会状況の変化により家庭での読書の時間の確保が難しくなっている現状があります。今後は各機関において、さらに保護者が子どもの読書活動への理解を深め、実行していくための情報提供が必要となります。

2. 地域における子どもの読書活動の推進

(1) 子育て関連機関における推進

- ① 本市には「子育てつどいの広場」「中央児童館」などさまざまな子育て関連機関があり、子どもと保護者が自由に遊びに行くことができる場所を提供するとともに学習会や講座、グループ活動、子育て相談などを行っています。

【取組の評価】

| | |
|----------|---|
| 読み聞かせの実施 | B |
| 計画的な図書購入 | B |
| 講演会の開催 | B |

【第1次計画での成果と課題】

- 各年齢に応じた絵本を選び、定期的に読み聞かせを実施してきました。また、いつでも絵本に触れることができる環境づくりにも努めました。
- 図書を購入する予算が確保されているため、ほとんどの施設で定期的に本を購入することができました。今後も計画的な購入を実施するための予算の確保が必要です。
- 子育てに関する講演会や保護者同士による絵本紹介など相互学習会を行ってきました。絵本に関する講座を実施するなど、広く読み聞かせの大切さを伝える講演会の継続的な開催が望まれます。

【今後の取組】

- 職員やボランティアによる絵本の読み聞かせを定期的に行っていますが、回数を増やすなど、さらに参加者が増えるような工夫をします。
- 予算を確保し、計画的に新しい本を購入したり、傷んだ本の買い替えをするなど、子どもたちが絵本と触れ合うより良い環境づくりに努めます。
- 絵本作家を招いて絵本に関する講座を実施するなど、幼児期における読み聞かせの大切さを保護者に啓発していきます。

- ② 本市では、妊娠期から幼児期までの親子に対して、母子保健の拠点となるはつらつセンター等で、健康診査、健康相談、健康教育、保健指導等を行っています。

【取組の評価】

| | |
|----------------------|---|
| 図書館との連携 | B |
| 読み聞かせや語りかけの意義や必要性の発信 | B |

【第1次計画での成果と課題】

- 7・8か月児相談、3歳児健診会場において、図書館職員による図書館PRや絵本の読み聞かせ等「はじめましてえほん事業[※]」の環境づくりに努め、連携を図りました。

- 乳幼児健診・相談事業を通して、保護者へ読み聞かせが、言語発達や子どもの成長につながることを指導しました。しかし就労している保護者の増加により、子どもと関わる時間が減少したこと、またスマートフォンの普及により保護者が携帯を用いて育児をする現状があります。

※【はじめましてえほん事業】 赤ちゃんと保護者が絵本を介して心ふれあう時間を持つきっかけを作るために、市立図書館が行っている事業。本市では7・8か月児相談時に実施

【今後の取組】

- 7・8か月児相談、3歳児健診時に、図書館と連携し、引き続き保護者に対して乳幼児期からの読書環境を整えるための意識啓発に努めていきます。
- スマートフォンの普及の現状を踏まえ、子どもの成長発達においての親子の触れ合いの時間や読み聞かせの必要性を保護者に伝えていきます。

(2) 放課後児童クラブにおける推進

市内の16校（龍野7、新宮5、揖保川3、御津1）に放課後児童クラブがあります。

放課後児童クラブは、放課後に保護者のいない児童に対して、授業の終了後に遊びや生活の場を提供する場所です。放課後児童クラブの読書環境を整え、児童が本に親しむことができるように支援します。

【取組の評価】

| | |
|----------------------------------------|---|
| 本棚の設置 | B |
| 支援員による読み聞かせの実施 | C |
| 移動図書館の利用 | B |
| 図書館職員の訪問によるストーリーテリング [※] 等の実施 | D |

※【ストーリーテリング】 昔話等を素語りで聞かせること

【第1次計画での成果と課題】

- 本棚の設置が十分でなく、環境により本棚の設置が難しい施設がありますが、箱等を利用し、児童が本を手に取りやすい環境づくりを進めていく必要があります。
- 各クラブでは、読書の時間を設けているものの、支援員による読み聞かせについては、十分に行えているとは言えません。
- 定期的に移動図書館による団体貸出を活用できている施設があります。また、利用していない施設も、夏休みに利用するなどの配慮がされています。
- 図書館職員がすべての施設を訪問し、読み聞かせやストーリーテリング等を実施できていないため、今後さらに図書館や地域ボランティアとの連携を深めていく必要があります。

【今後の取組】

- 既設の環境を利用した本棚づくりを考えるなど、児童が本を手に取りやすい環境づくりに配慮します。
- 児童に読書の楽しさを感じてもらうため、読書の時間などに、支援員による定期的な読み聞かせを行うよう努めます。
- 移動図書館による団体貸出を活用するとともに、定期的に利用できていない施設についても、図書館との連携を進めます。
- 図書館職員が訪問し、読み聞かせやストーリーテリング等を実施している施設は少ないため、実施できていない施設には、図書館や地域ボランティアとの連携を図ります。

3. 学校園等における子どもの読書活動の推進

(1) 幼稚園・保育園（所）・こども園における推進

市内には幼稚園が4園、保育園（所）が8園所、こども園が19園、計31園所（令和3年4月現在）があります。読書活動は、子どもの心を育む幼児教育には欠かせないものです。

園所では、園児がさまざまな絵本やおはなしに親しむ中で、想像力を育み、豊かな情操や言語感覚を養うことができるよう支援します。また、保護者に対して読み聞かせの大切さを伝える読書啓発を行います。

① 環境整備

【取組の評価】

| | |
|--------------|---|
| 絵本棚の充実 | B |
| 予算の確保と図書の実充 | B |
| 本の傷みを軽減する工夫 | B |
| 移動図書館による本の貸出 | B |

【第1次計画での成果と課題】

- 保育室等に絵本棚があり年齢や季節に応じた絵本が展示されています。また、玄関ホールや多目的室を活用して、園児が絵本を身近に感じられる工夫も行ってはいますが、十分な絵本棚のスペースが取れない園所もあります。
- 予算が確保され、毎年図書が補充されるよう取組みがなされています。
- 長年の使用により傷んできている本は買い替えの必要があります。また、保護フィルムの貼付や定期的な点検を行うなど、本の傷みを軽減するための工夫を検討することが必要です。
- 移動図書館が巡回している園所では、園児が直接本を選んで借りるほか、団体貸出等も活用しています。

【今後の取組】

- 子どもがいつでも絵本や図鑑等を手に取れるように園所内に絵本棚・絵本コーナーを設置して、引き続き、子どもが自発的に本に親しめる環境づくりに努めます。また、子どもの発達段階や興味・関心に応じた多様な本の収集・提供に配慮します。
- 園所内における絵本棚については、ジャンルごとに整理するなど、子どもの目線に立った分かりやすい配置を心掛けます。
- 長期的に継続して本を提供できるよう、計画的に購入していきます。
- 長年の使用により傷んできている本の買い替えや、本の傷みを軽減するための方法を工夫し、多くの子どもが使用する本を良い状態に保てるようにします。
- 市立図書館と連携し、移動図書館を活用するなど幅広く本に親しめる環境づくりに努めます。

② 読書支援

【取組の評価】

| | |
|------------------|---|
| 読み聞かせの実施 | A |
| 絵本の貸出しと保護者への啓発活動 | C |
| 保育活動における絵本の活用 | A |
| 保護者向けの講演会の開催 | C |
| 図書館の利用 | C |

【第1次計画での成果と課題】

- すべての園所で読み聞かせを実施しました。園所の保育者だけでなく、図書館職員や読み聞かせボランティアと協力しながら、読み聞かせの機会を増やすよう取り組んでいます。
- 園所によって状況が異なるため、本の貸出しは必ずしも行っていませんが、家庭での読書機会を広げるため、今後の検討が必要です。
- 年齢や発達段階に応じた読み聞かせを行っています。物語絵本とともに、個々の子どもの興味・関心を引き出し、保育活動につながるような図鑑や科学絵本の活用も行っていきます。
- 乳幼児期の読書推進には家庭での関わりが欠かせないため、園便りや連絡帳、保護者会などを通じて、読み聞かせや本に親しむことの大切さを伝えています。
- 保護者向けの講演会については、実施できている園所もありますが、図書館等と連携し、さらに読書活動の啓発に努める必要があります。

【今後の取組】

- 子どもが絵本やおはなしの楽しさを感じられる読み聞かせを、積極的に保育活動の中に取り入れます。また、保育を発展させるための絵本や図鑑の活用を図ります。
- 図書館職員や地域の読み聞かせボランティア、保護者と連携し、協力しながら乳幼児期の子どもの読書活動の推進に努めます。
- 家庭で読書を楽しむ時間を持てるよう保護者に働きかけ、移動図書館の本や園所の本を貸し出したり講演会を開催するなど、子どもの読書活動への理解と関心を深めるための啓発活動を行っていきます。
- 園バスや市バス、コミュニティバス等での地域の図書館への訪問、図書館職員や地域ボランティアによる園所での読み聞かせを実施します。また、図書館の団体貸出を利用するなど、園所外の図書資源も有効に活用します。

(2) 小学校・中学校における推進

市内には小学校が17校、中学校が6校あり、学校生活の中でさまざまな読書活動に取り組んでいます。

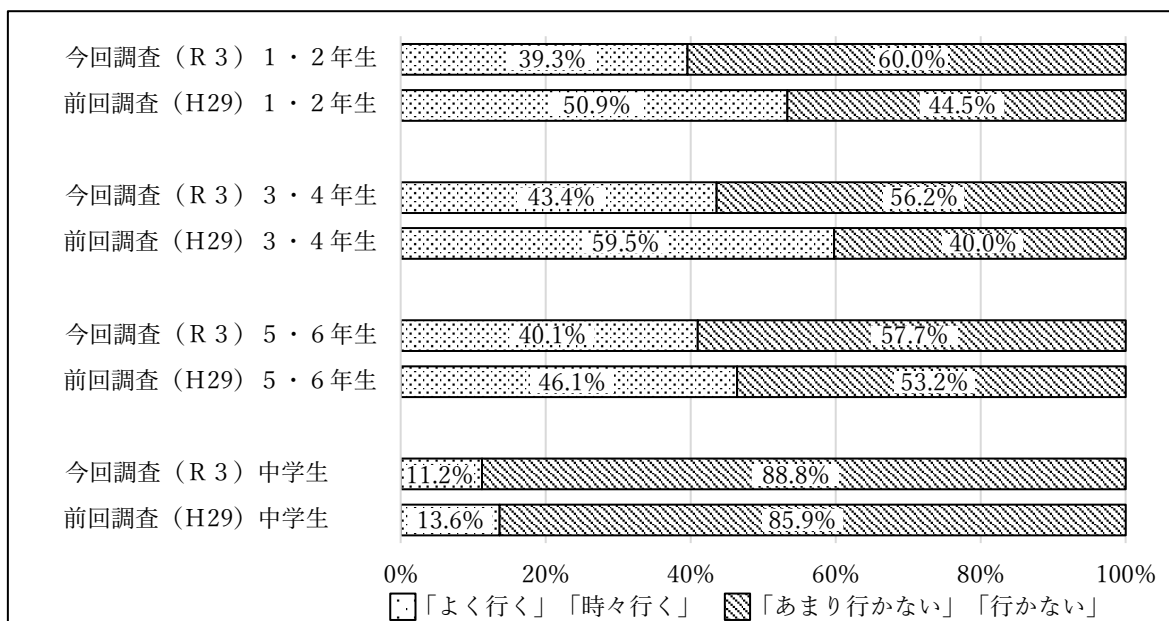
学校図書館は、読書を楽しみ、豊かな心を育む「読書センター」として、また児童・生徒の自発的・主体的な学習活動を支援する「学習センター」、知識や情報の収集、選択及び活用を支援していく「情報センター」としての機能を持ち、校内において欠くことのできない施設です。

各教科や特別活動、総合的な学習の時間等の学習活動の中で、積極的に学校図書館を活用して学習を進めるとともに、さまざまな機関と連携して、子どもの主体的な読書活動の推進を図ります。

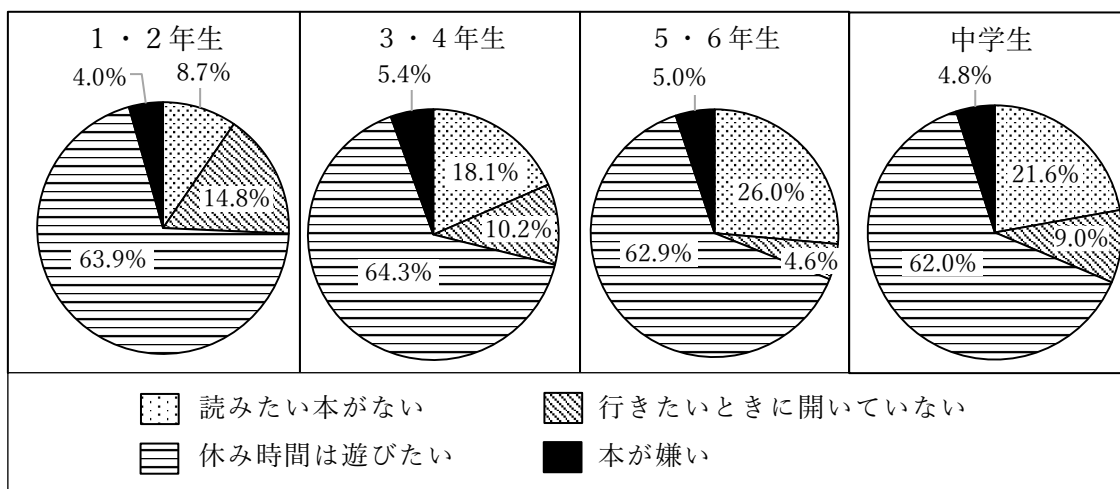
① 環境整備

「子どもの読書活動に関するアンケート調査」によると、小学生の約41%が、中学生の約11%が学校図書館に「よく行く・時々行く」と答えています。この割合は前回調査と比較して減少傾向にあります。一方、小学生の約30%、中学生の約77%が学校図書館に行かないと回答しており、その理由として、約63%が「遊びたいから・他にしたいことがあるから」を挙げています。また、「読みたい本がないから」という回答も学年が上がるにつれて増加傾向にあり、学校図書館をより魅力あるものにするるとともに、子どもと本をつなぐための工夫が求められます。

休み時間に学校図書館に行くかどうか



休み時間に学校図書館に「あまり行かない」「行かない」理由



【取組の評価】

| | |
|------------------|---|
| 学校司書の配置 | D |
| 蔵書のデータベース化及び環境整備 | B |
| 学級文庫の充実 | B |

【第1次計画での成果と課題】

- 市内小中学校において、学校司書は現在配置されていません。
- 蔵書のデータベース化は完了している学校も多く、効率的な蔵書管理や貸出返却手続が可能になってきました。学校図書館における図書の配置や読書環境については課題があり、各学校の状況に応じた環境整備が望まれます。
- 児童が学校にいる時間に常時利用できる学級文庫は、新鮮な状態を保つために図書委員会の活動として毎月学級文庫の入れ替えをしている学校や、市立図書館の本で対応している学校がありました。

【今後の取組】

- 小規模校も含め、専任の学校司書を配置し、児童・生徒に読書の楽しみを伝え、学校図書館が十分に機能するような工夫が望まれます。
- 蔵書のデータベース化については、さらに利便性を高めるため、すべての蔵書のデータベース化を進め、古くなった図書の廃棄作業に努めます。
- 図書の配置や読書環境については、見出し板やサイン、掲示物などを工夫し、利用しやすい空間づくりが必要です。環境整備の面で図書委員会や保護者の協力を得ている学校もあり、各学校の状況に応じた工夫を行います。
- 学級文庫にも新鮮で魅力的な図書を配置し、授業でも活用できるよう努めます。

② 小学校における読書支援

【取組の評価】

| | |
|-----------------------|---|
| 読み聞かせの実施 | B |
| 一斉読書（朝の読書等）の実施 | B |
| 授業における図書の活用 | B |
| 学校図書館に関するオリエンテーションの普及 | C |
| 特別活動による読書フェスティバル等の実施 | C |

【第1次計画での成果と課題】

- 教職員や地域のボランティア、図書館職員による読み聞かせを実施しています。各団体が協力することで、児童の読書意欲の向上につながりました。
- ほとんどの学校で、朝の読書や隙間時間を活用しての読書を実施しており、定着してきています。さらに、児童の読む意欲を引き出すための声掛け等が望まれます。
- 各教科の授業において、学校図書館や市立図書館の図書を活用しました。タブレットを使用し、インターネットで調べる機会も増えてきたため、それぞれの特長を活かした学習が望まれます。
- 学校図書館に関するオリエンテーションを積極的に行った学校がある一方で、ほとんどできていない学校があります。
- 多くの学校で図書委員会等の児童の活動により、おすすめ本の紹介や図書クイズ等さまざまな取組みを行い、読書活動の推進に努めてきました。

【今後の取組】

- 低学年を中心にボランティアや教職員による読み聞かせを行います。さらに、中学年、高学年についても、読み聞かせの機会を持つように努めます。
- 朝の読書や隙間時間を活用した読書の定着のために、児童が短時間であっても充実した時間が確保できるように、本の配置や時間の取り方等の工夫を行います。また、タブレットを活用したオンラインでの図書紹介や電子図書館の活用等、読書意欲を掻き立てる工夫に努めます。
- 各教科の授業において図書を活用することにより、能動的で、探究的な学習活動を行うことができ、情報活用能力を育むことが可能となります。教科書の改訂に沿った計画的な図書の購入に努めます。
- 学校図書館に関するオリエンテーションは、年度当初に各学年に応じた内容で行う必要があります。また、教職員にも図書の場所や利用方法について周知を

図るよう努めます。

- おすすめ本の紹介や読書フェスティバル等の読書イベントを積極的に行い、読書への興味関心を掻き立てる工夫を実施します。

③ 中学校における読書支援

【取組の評価】

| | |
|--------------------------------------|---|
| 一斉読書（朝の読書等）の実施 | B |
| 学校図書館に関するオリエンテーションの充実 | C |
| 生徒主体の図書委員会活動の充実 | A |
| 読書会やビブリオバトル [※] 等の図書イベントの開催 | C |
| 授業における図書の活用 | C |
| 図書館教育担当者間の連携と協力 | B |

※【ビブリオバトル】 発表者がおもしろいと思う本の魅力を紹介し、参加者は読みたくなった本を投票しチャンプ本を決める「知的書評合戦」

【第1次計画での成果と課題】

- ほとんどの学校で、始業前に読書時間を設ける朝の読書を実施しています。
- 年1回程度、オリエンテーションで学校図書館の役割や利用方法を説明していますが、さらなる利用促進につなげる工夫が必要です。
- 全学校で図書委員会が中心となり、学校図書館の運営や図書だよりの発行を行っています。
- 図書イベントを開催するための時間が確保できていません。今後の取組みが望まれます。
- 1人1台タブレット端末が配付され、学校図書館の利用頻度が減少している傾向にあるため、授業で活用できる図書資料の充実が必要です。
- 夏休み前に配付する揖龍中学校図書館教育部会推薦図書リストの作成など、学校間で協力して読書活動の推進に努めています。

【今後の取組】

- 読書に親しむきっかけとなる取組みを継続し、読書習慣の定着を目指します。また、タブレットを活用し、おすすめ本の紹介等を行います。

- オリエンテーションの機会を増やし、内容も工夫するように努めます。
- 生徒の主体性を尊重した図書委員会活動を行っていきます。
- 図書委員会活動で図書館クイズ等の図書イベントの企画を検討していきます。
- 特別活動や各教科の事前・事後学習、総合的な学習を進める中で、学校図書館を積極的に活用していきます。
- 読書指導のあり方や学校図書館の運営方法などについて、図書館教育担当者間で意見交換の場を設け、相互連携しながら読書活動の推進に取り組みます。

(3) 高等学校における推進

市内に公立高等学校は2校あります。高校生にとって読書は、「生きる力」を育み、人として成長するために、思考を深め、豊かな情操を養い、確かな自己を確立するために欠くことのできないものです。また、各教科、科目に必要な知識を習得し、調べ学習に取り組むためにも学校図書館を整備する必要があります。

【取組の評価】

| | |
|-----------------------|---|
| 学校図書館に関するオリエンテーションの充実 | B |
| 生徒主体の図書委員会活動 | B |
| 読書会やビブリオバトルの開催 | B |
| 図書だよりの発行 | A |
| 計画的な図書の購入と廃棄 | A |
| 司書教諭の専任化又は学校司書の配置 | D |

【第1次計画での成果と課題】

- 新入生を対象としたオリエンテーションや説明資料の配付を行っています。
- 図書委員会が中心となり、生徒主体で学校図書館の運営を行っています。
- 読書会[※]やブックトーク[※]やビブリオバトルを行っており、生徒の読書意欲の向上につながっています。
- 図書委員会が中心となって図書だよりを作成・発行しており、生徒が興味・関心を持てるような内容に工夫しています。
- 図書購入費を確保し、生徒のニーズに応じた新刊図書を購入しています。
- 専任の司書教諭や学校司書の配置がないため生徒へのアドバイスが十分にできていない学校や、授業等で学校図書館をうまく活用できていない学校がありま

す。

- 授業等での学校図書館の利用について、パソコン・スマホなどの IT 機器を使用
しての調べ学習などにどのように対応していくかが課題となっています。

※【読書会】 特定の図書を読み、意見や感想を述べ合うこと

※【ブックトーク】 一定のテーマに沿って複数の本を紹介すること

【今後の取組】

- オリエンテーションの機会を増やし、内容も工夫するように努めます。
- 生徒の主体性を尊重した図書委員会活動を今後も行っていきます。
- 生徒が興味・関心を持てるような図書イベントを引き続き開催していきます。
- 定期的に図書だよりを発行し、引き続き学校図書館の利用促進に努めていきま
す。
- 生徒の幅広い知的好奇心に応えるため、蔵書をさらに充実させていきます。
- 専任の司書教諭又は学校司書の配置が望まれます。

(4) 特別支援学校における推進

市内に特別支援学校は2校あります。児童・生徒の「生きる力」を育むことを目
指し、読書の楽しみと共に思考力・表現力を養う読書活動を推進することが大切で
す。学校図書館の利用により、児童・生徒の主体的、意欲的な活動を充実させる必
要があります。個人差が大きいいため、子どもの状況に応じて個別の対応が望まれま
す。

【取組の評価】

| | |
|---------------------|---|
| 児童・生徒による図書委員会活動 | C |
| 計画的な図書の購入と廃棄 | B |
| 児童・生徒の個性や発達に応じた読書支援 | C |

【第1次計画での成果と課題】

- 図書当番による図書の整理やおすすめ図書の紹介を行っている学校もあります。
- 資料購入費を確保し、生徒のニーズに応じた図書を購入しています。
- 児童・生徒の発達や障害の状況が異なるため、個別の読書支援が難しくなっ
ています。

【今後の取組】

- 児童・生徒が対応できる範囲で、読書の楽しさを伝えられるような図書委員会活動を行っていきます。
- 児童・生徒の発達や障害の状況に応じ、読書バリアフリー法第2条第2項に基づくアクセシブルな書籍[※]を購入していきます。
- 授業の中で、おすすめの図書の紹介や簡単なビブリオバトルを実施することで、読書活動の推進を図ります。

※【アクセシブルな書籍】 点字図書、拡大図書、録音図書、触る絵本、布の絵本等の障害者等が利用しやすいバリアフリー図書



4. 市立図書館における子どもの読書活動の推進

図書館は読書活動推進の拠点として、地域における子どもの読書活動を支える中核的な役割を担っています。市内には、龍野図書館、新宮図書館、揖保川図書館、御津図書館と移動図書館があり、互いに連携を取りながら図書館運営を行っています。市内の図書館では、児童書を、約 108,500 冊を所蔵しており、第 1 次計画の策定時点より 7,500 冊増加しています。(令和 3 年 4 月現在)

図書館では、児童サービスを図書館サービスの大きな柱として位置付け、年齢や発達に応じた本を揃え、豊かな読書活動を行う中で、すべての子どもが読書の楽しさを知り、情報を得て、知識を高めることができるように支援します。

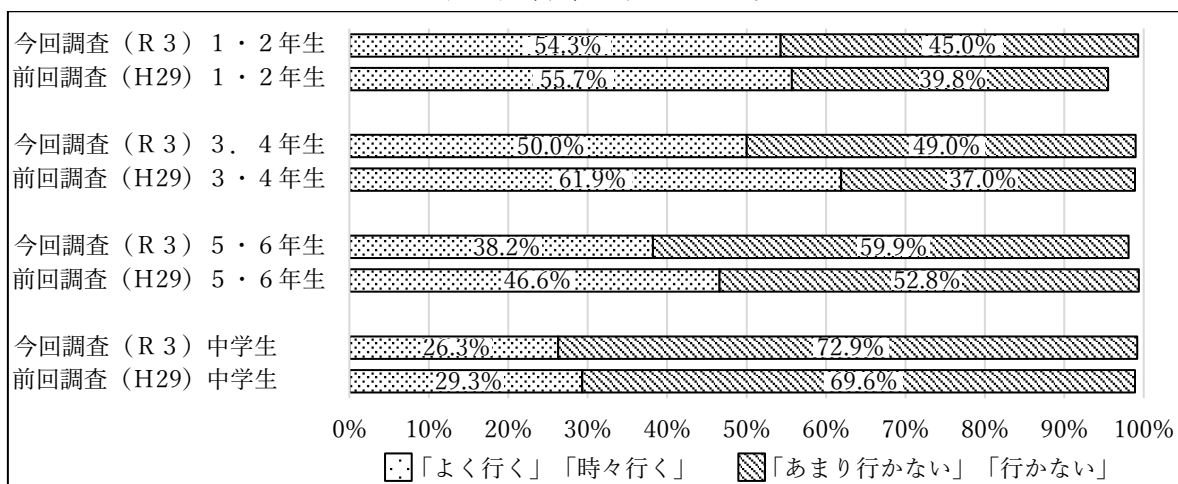
また、市内の学校園や子どもに関わる機関と連携を図り、互いに協力しながら読書推進を行います。

① 図書館での環境整備

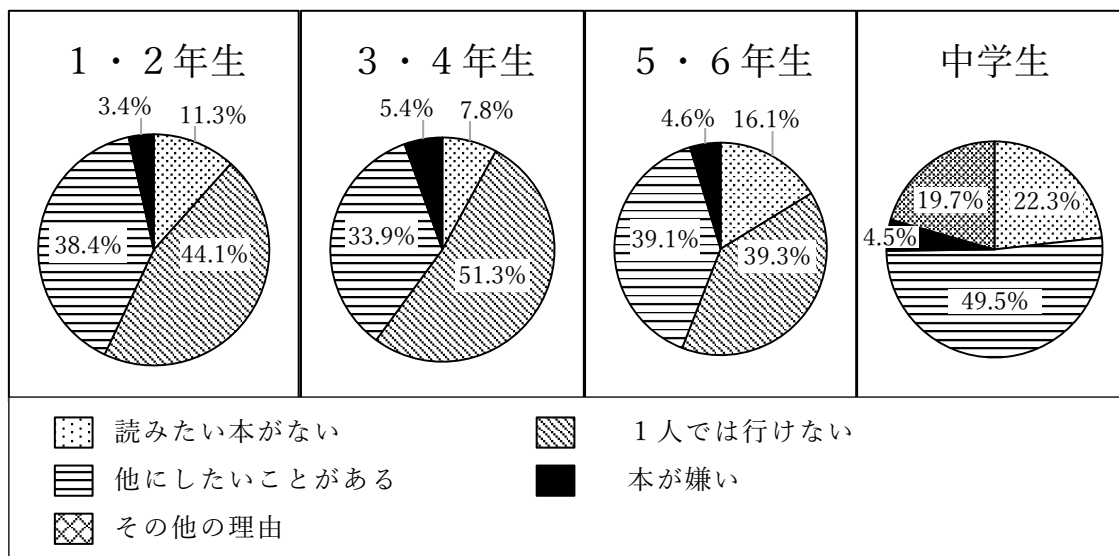
「子どもの読書活動に関するアンケート」によると、図書館に「よく行く・時々行く」と回答しているのは、小学校低学年の 54.3%、小学校中学年の 50.0%、小学校高学年の 38.2%、中学生では 26.3% となり、どの学年でも前回調査と比較して利用が減少しています。

図書館に「あまり行かない・行かない」と回答した理由としては、小学生では「1 人では行けないから」が 50% 前後で最も多くなっています。中学生では 49.5% が「他にしたいことがあるから」、次いで 22.3% が「読みたい本がないから」と回答しています。その他の理由としては、「時間がないから」、「本は買って読みたいから」などの回答がありました。

たつの市の図書館に行くかどうか



たつの市の図書館に「あまり行かない」「行かない」理由



【取組の評価】

| | |
|----------------------|---|
| 児童図書の計画的な購入と充実 | B |
| 魅力的な棚作り及び本との出会いの場の設定 | B |
| サインの作成など本を利用しやすい創意工夫 | A |
| 特別な支援が必要な子どもへの環境整備 | B |
| 中学生・高校生専用のコーナーの充実 | B |

【第1次計画での成果と課題】

- 絵本や物語は、一定の基準を満たす図書、世代を超えて読み継がれる児童書を提供するという方針で収集しており、新刊本の購入や劣化した図書の買い替えなど、資料の充実に努めてきました。蔵書の核となる基本図書を複数冊揃えるようにしていますが、本によっては入手が困難で買い替えができないものがあります。
- 児童コーナーは、明るく親しみが持てるように、季節感のある壁面飾りを行っています。さらに定期的に企画展示[※]を行い、さまざまな本との出会いの場となるよう取り組みました。また、乳幼児絵本は探しやすいように別置き、基本図書は表紙を見せて並べるなど、配置を工夫しました。
- ジャンルによってラベルの色を変え、イラストを使ったサインも導入して、文字が読めなくても目的の本を探せるようにしました。
- 特別な支援が必要な子どもへの環境整備としては、LLブック[※]や点字つき絵本等をまとめたコーナーを作り、拡大読書器等を設置しています。

- ほとんどの館で中学生・高校生向けのコーナーを設置し、学習や進路に関する本、雑誌や小説等を配架してきました。さらに学びのスペース（自習用スペース）を利用する中高生に向けてPRする必要があります。
- 図書館システムにより市立図書館の所蔵状況や個々の本の貸出状況が把握できます。各館のフロアにはOPAC（利用者用検索端末）やインターネット端末を設置しています。また、市内4館を結ぶ図書使送便によって、自館にない本を他館から取り寄せて迅速に提供するなどの利便を図っています。

※【企画展示】 テーマを決め、そのテーマに沿った本をまとめて目立つ場所に展示すること

※【LLブック】 知的障害や発達障害がある人などが読みやすいように、写真や絵、絵文字、短い言葉などで構成された本

【今後の取組】

- 新刊本の購入や劣化した本の買い替えなどを適宜行い、子どもの現在の課題や関心に応えられるよう、資料の充実に努めます。今後さらに、利用者のニーズを把握することが求められます。
- 今後も企画展示を行い、さまざまな本との出会いの場となるよう取り組みます。さらに、シリーズが分かりやすいように巻号を表示することや、展示の際にあらすじを添付して紹介するなど手にとりたくなる工夫を行います。
- 子どもや保護者にとって、本が探しやすい配置や表示に努めます。
- 特別な支援が必要な子どもへの環境整備として、今後、LLブックや点字つき絵本等のPRと利用促進に繋げる工夫を実施します。
- 中学生・高校生向けのコーナーの本を定期的に入れ替え、新鮮な状態にすることが必要です。また、読書意欲をかき立てるような選書と紹介の方法について工夫します。
- 図書館システム及び図書使送便については、必要に応じて見直しを行い、さらに利便性を高めます。

② 図書館での読書支援

【取組の評価】

| | |
|--------------------|---|
| 研修などによる図書館職員のスキル向上 | B |
| 家庭での読書意識の高揚 | B |
| 図書館報など行事のPR方法の工夫 | B |

| | |
|----------------------------|---|
| 子ども向けイベントの開催 | A |
| 特別な支援を必要とする子どものための資料の収集・提供 | B |

【第1次計画での成果と課題】

- 児童書やストーリーテリング、ブックトーク等についての意見交換を行う職場内研修のほか、近畿公共図書館協議会、兵庫県図書館協会、西播磨図書館連絡協議会等が主催する各種研修会に参加し、児童サービスについての研鑽を積むよう取り組みました。
- 7・8か月児相談時での声掛けや子育て支援施設での絵本講座等を通じて、家庭での読書の大切さを伝えました。また図書館内では、保護者の読書相談を受けるなど、個々に応じた読書意欲の醸成に努めてきました。家庭の実情に合わせた関わり方、読書への興味・関心を高めるための働きかけが必要です。
- 市広報や図書館報、ホームページ、チラシなどで行事・イベントのPRを行っています。従来の方法に加え、今後はさらに効果的な広報活動を工夫する必要があります。
- 読書への親しみや関心を高めることを目的に、子ども向けイベントを開催しました。「おはなしのじかん」「えほんのじかん」「一日図書館員」など、定期的に継続して行っている行事のほか、絵本原画巡回展や人形劇、絵本クイズなどのイベントについても随時企画し、開催しました。図書館に行く楽しさ、きっかけとなるイベントを引き続き実施していくことが大切です。
- 読書バリアフリー法に基づき、点字図書やLLブック、電子図書館における電子書籍等、支援を必要とする子どものためのアクセシブルな書籍を購入しました。

【今後の取組】

- 図書館職員各自が児童サービスの知識とスキルを向上させることによって、より良い読書支援が行えるよう努めます。子どもの読書相談や調べものに的確に対応し、本と子どもの橋渡しとなるような、心の通う読書支援に努めます。
- 児童の保護者に対しては、乳幼児期からの読書体験が大切であることを広く周知し、意識・関心を高め、家庭での子ども読書活動の促進を図っていきます。
- 図書館報や行事・イベントのPR方法については、効果的な周知方法を検討して情報を発信していきます。
- 発達段階に応じた子ども向け行事や、親子で参加できるイベント等の内容を工夫し、参加者の拡大に努めていきます。また「一日図書館員」、「トライやる・ウィーク[※]」の受け入れを通して、図書館に対する理解や関心を深め、本に対する親しみを持つような取組みを進めていきます。

- 図書館に来館する子どもへの働きかけとともに、日常的に図書館を利用していない子どもや読書機会が減少する中高生に向けた働きかけに留意します。
- 読書バリアフリー法に基づき、点字図書やLLブック、電子図書館における電子書籍等、特別な支援を必要とする子どものためのアクセシブルな書籍について、今後も積極的に収集し、利用に向けての啓発に努めます。また、支援学級等への団体貸出など、提供方法についても工夫して読書活動を支援します。

※【トライやる・ウィーク】 中学2年生が、1週間学校を離れ、学校・家庭・地域社会が連携し、市内の施設や事業所などで、さまざまな社会体験活動を行うこと

③ 幼稚園・保育園（所）・こども園への読書支援

【取組の評価】

| | |
|----------------------------------|---|
| 移動図書館による貸出 | B |
| 図書館への来館時や園所への訪問時のストーリーテリングや読み聞かせ | B |
| 絵本や読み聞かせに関する講演の開催 | B |
| 園所からの要望収集及び情報提供 | B |

【第1次計画での成果と課題】

- 図書館から一定の距離に位置する園所には、移動図書館による貸出しを行い、園児がより多く本に親しめるよう努めました。また依頼に応じて団体貸出を行うなど、図書館の本を園所で有効に活用してもらうなどの支援を行いました。
- 図書館への来館や園所訪問を通して、貸出しや絵本の読み聞かせ、ストーリーテリング等を実施しました。
- 依頼のあった園所において講演会を行いました。今後さらに、保護者や保育者に対して、読書についての理解を深めるような取組みが必要です。
- 来館や訪問時の機会をとらえて園所長や保育者と連絡調整を行い、ニーズに応じた図書の提供に努めています。あまり利用のない園所については、要望収集や情報提供を図書館から呼びかけることが望まれます。

【今後の取組】

- 図書館から一定の距離に位置する園所には、引き続き、移動図書館による貸出しを行い、園児が本に親しむ機会を拡充していきます。
- 本の楽しさを伝えるストーリーテリングや読み聞かせを、さらに進めていきま

す。園所と連携を密に取り、図書館への来館や園所への訪問を通して図書館に親しむ機会を定着させていくよう努めます。

- 絵本や読み聞かせに関する講演の開催を通して、乳幼児期から本に親しむ大切さを保護者に伝え、乳幼児の読書活動を支援する取組みを進めます。
- 読書活動の推進についての情報や要望を交換しながら、園所とより良い連携を図っていけるよう留意します。

④ 小学校への読書支援

【取組の評価】

| | |
|----------------------|---|
| 団体貸出の実施 | A |
| 学校訪問の実施 | B |
| 図書館担当教諭への利用案内・講演等の開催 | B |
| 夏休み推薦図書リスト作成 | A |

【第1次計画での成果と課題】

- 朝の読書や調べ学習用、学級文庫用として小学校に団体貸出を行いました。団体貸出に供する図書資料の充実を図り、質・量ともに児童・教職員のニーズに即した提供が求められます。
- 各小学校を訪問し、授業の一環としてストーリーテリングや読み聞かせ、ブックトーク等を行いました。実施内容や実施頻度については、学校と協議しながら段階的に増やしていくことが望まれます。
- 図書館の利用案内を年度当初等に行っています。小学校ごとの個別の講演会は実施できていませんが、図書館教育部会と合同で、夏休み推薦図書リストに関連した児童書の研修会を行っています。
- 小学校の図書館担当教諭と共同で夏休み推薦図書リストを作成して、本市の全児童に配付し、子どもが手に取りやすいようにリニューアルしました。

【今後の取組】

- 読書の楽しさを伝え、児童の学習を支援する団体貸出を拡充していきます。図書資料の充実を図るとともに、ニーズにあった提供に努めます。
- 学校訪問を引き続き実施し、読書の楽しさを伝える機会の拡充に努めます。また図書館見学など機会をとらえて、読書支援や利用教育に取り組みます。
- 図書館担当教諭への利用案内の実施や、図書館教育部会との合同研修等を引き続き行っていきます。また、学校図書館の配架や選書への助言、読書相談に応

じるなど、学校での読書指導を支援していきます。

- 夏休み推薦図書リストの内容については、随時改良を重ねます。また配付方法や保護者への効果的なPR方法などについても検討していきます。

⑤ 中学校・高等学校への読書支援

【取組の評価】

| | |
|---------------------------|---|
| 学校図書館の現状や生徒の読書傾向の把握 | C |
| 「トライやる・ウィーク」やインターンシップの受入れ | B |
| 団体貸出の実施 | D |
| 学校への訪問や支援 | C |

【第1次計画の成果と課題】

- 学校図書館の現状や生徒の読書傾向を知り、支援する必要がありますが、学校との連携が取れておらず、読書傾向の把握はできていません。
- 「トライやる・ウィーク」やインターンシップについては、依頼に応じて実施しました。
- 中学校への団体貸出は、授業の内容によって必要な図書の貸出しを行っている学校もありますが、ほとんど実施できていません。
- 中学校への学校訪問はほとんど実施できていませんが、実施した学校では生徒の読書への興味関心を高めることに繋がりました。今後、学校訪問を実施するには、図書館司書の体制を整え、研修機会の確保が必要です。
- 高等学校との連携はほとんど実施できていません。学校図書館の担当教諭を対象に公立図書館としての支援について講演する機会を持たせた学校もありましたが、今後さらに連携を深めていく必要があります。

【今後の取組】

- 中学校の学校図書館の現状や生徒の読書傾向を知るために、聞き取り調査等を行う必要があります。
- 「トライやる・ウィーク」やインターンシップは、中高生が図書館の仕事を体験することで、図書館を身近に感じる機会となっているため、今後も依頼に応じて受け入れます。
- 朝の読書用の本や調べ学習用の資料など、要望に応じて団体貸出を実施できるよう連携を図ります。
- 中学校への学校訪問が実施できるよう、図書館職員の体制を整え、中学校との

連携に努めます。また、長期休暇中等の課題に対して、より適切に支援をするために、その内容を把握し、必要な図書を揃えていきます。

- 高等学校とは今後、図書の相互貸借や情報提供などで連携を深められるよう努めます。

⑥ 特別支援学校への読書支援

【取組の評価】

| | |
|-------------|---|
| 移動図書館による貸出 | A |
| 団体貸出 | C |
| 情報提供などの連携強化 | B |

【第1次計画での成果と課題】

- 移動図書館で定期的に巡回し、児童・生徒の発達や障害の程度に応じた資料の提供に努めました。
- 要望により、授業等で必要な資料を提供できた学校もありますが、管理上の面で、団体貸出を利用できていない学校もあります。
- 職業訓練の一環として本のクリーニングや図書館報の製本等の作業体験、また読書活動を支援するため、生徒の要望の多いテーマの本を紹介するなど連携を深めてきました。

【今後の取組】

- 移動図書館での巡回を継続し、児童・生徒とのコミュニケーションをさらに密にし、読書力や興味・関心に応じた本と出会う機会を提供します。
- 団体貸出については、利用できていない学校に対して、利用の促進を進めていきます。
- 学校との連携を深め、資料についての情報提供等に努めていきます。

⑦ 子育て関連機関等への読書支援

【取組の評価】

| | |
|----------------------------------|---|
| はつらつセンター等での「はじめましてえほん」の実施 | A |
| 子育てつどいの広場等における読み聞かせや保護者向けの講演等の開催 | B |
| 放課後児童クラブへの移動図書館による貸出 | B |

| | |
|-------------------------------|---|
| 放課後児童クラブへのストーリーテリングや読み聞かせ等の実施 | B |
|-------------------------------|---|

【第1次計画での成果と課題】

- 子どもの心身の発達について、はつらつセンター等において、7・8か月児相談時にすべての赤ちゃんに絵本を手渡す「はじめましてえほん」事業を実施しました。市立図書館では、平成29年度～令和2年度の期間で、対象者1,911人に絵本等の配付を行いました。
- 子育てつどいの広場等において、わらべうたや読み聞かせ、保護者向けの講演会を実施しています。より多くの施設において、保護者に向けての乳幼児期からの読書活動の重要性を伝える必要があります。
- 放課後児童クラブへは移動図書館により団体貸出を行ってきました。さらに図書館の資料を有効活用し、児童への読書活動を支援する必要があります。
- 放課後児童クラブへ夏休み等にストーリーテリングや読み聞かせを行い、本に親しむ機会を設けていますが、すべてのクラブにおいて実施できていない現状があり、さらに充実させる必要があります。

【今後の取組】

- はつらつセンター等で、7・8か月児相談時に「はじめましてえほん」事業を継続的に実施し、赤ちゃんにとって、本との出会いの場である家庭での読書活動を支援していきます。
- より多くの施設において、わらべうたや読み聞かせ、また保護者向けの講演会を実施することで、保護者に、乳幼児期の読書活動の大切さを広く伝えていきます。
- 放課後児童クラブへは、今後も継続して移動図書館による団体貸出を行っていきます。
- 放課後児童クラブとの連携をさらに深め、夏休み等にストーリーテリングや読み聞かせを行い、本に親しむ機会を設けることで、児童に読書の楽しさを伝えていきます。

⑧ ボランティアの育成・活動支援

【取組の評価】

| | |
|----------------|---|
| ボランティアの活動状況の把握 | B |
| ボランティアとの連携 | B |
| ボランティアの発掘と育成 | C |

【第1次計画での成果と課題】

- ボランティアグループの活動については、訪問先や活動内容を把握できているボランティアもありますが、さらに情報収集に努める必要があります。
- 学校園等に読み聞かせや人形劇などを行っているボランティアグループへは、絵本選びや読み方等の助言を行うなど相互協力に努めました。
- ボランティアの育成については、研修会への参加を促すなど声掛けに努めてきましたが、活動の詳細を十分に把握できていません。活動内容の把握に努め、新しいボランティアを発掘し、子どもの読書支援について共通理解を図り、連携を密にする必要があります。
- ボランティアを対象とした講演会を実施し、子どもの読書推進に関わる方々への支援に努めました。

【今後の取組】

- 読書活動を実施しているボランティアグループの活動状況について、できるだけ情報収集し把握する必要があります。
- 学校園等に読み聞かせや人形劇などを行っている一部のボランティアグループへの絵本選びや読み方等の助言を引き続き行い、活動を支援します。
- ボランティアの発掘に努めるとともに、活動しているボランティアについては、研修会等への案内をするなど、読書支援について共通理解を図る工夫をします。

5. 関係機関の連携・協力

計画を推進するためには、家庭、地域、幼稚園、保育園（所）、こども園、小学校、中学校、特別支援学校、高等学校、図書館、子育て関連機関等、子どもの育成に関わる機関が、連携・協力して取り組むことが大切です。

| 施設名 | 所在地 | 電話番号 |
|-----------------------|--------------|--------------|
| たつの市立半田幼稚園 | 揖保川町新在家 173 | 0791-72-2486 |
| たつの市立河内幼稚園 | 揖保川町浦部 179 | 0791-72-2586 |
| たつの市立神岡保育所 | 神岡町田中 668-2 | 0791-65-1193 |
| 社会福祉法人 西楽保育園 | 神岡町東觜崎 92-2 | 0791-65-1860 |
| 社会福祉法人 揖保みどり保育園 | 揖保町揖保中 97-3 | 0791-67-8055 |
| 社会福祉法人 たんぽぽ保育園 | 龍野町宮脇 10-4 | 0791-63-2777 |
| 社会福祉法人 龍野太陽保育園 | 揖保町今市 334-1 | 0791-67-1351 |
| 社会福祉法人 東栗栖保育園 | 新宮町能地 338-2 | 0791-75-0188 |
| 社会福祉法人 香島保育園 | 新宮町香山 1430-1 | 0791-77-1014 |
| 社会福祉法人 岩見保育所 | 御津町岩見 1462 | 079-322-3657 |
| たつの市立龍野こども園 | 龍野町上霞城 130 | 0791-62-0392 |
| たつの市立小宅北こども園 | 龍野町片山 6 | 0791-63-0487 |
| たつの市立小宅南こども園 | 龍野町富永 404 | 0791-63-4640 |
| たつの市立揖西東こども園 | 揖西町清水 30-1 | 0791-66-0270 |
| たつの市立揖西中こども園 | 揖西町構 47-1 | 0791-66-2405 |
| たつの市立誉田こども園 | 誉田町広山 507-5 | 0791-63-0816 |
| たつの市立西栗栖こども園 | 新宮町鍛冶屋 77 | 0791-78-0813 |
| たつの市立新宮こども園 | 新宮町新宮 430-1 | 0791-75-4185 |
| たつの市立神部こども園 | 揖保川町黍田 5-2 | 0791-72-2487 |
| たつの市立御津北こども園 | 御津町中島 980 | 079-322-2278 |
| たつの市立御津南こども園 | 御津町岩見 320 | 079-322-2502 |
| 社会福祉法人 認定こども園旭こども園 | 龍野町富永 16 | 0791-63-1848 |
| 社会福祉法人 認定こども園あそびの丘 | 揖保町小畑 541-1 | 0791-72-8825 |
| 社会福祉法人 認定こども園まことこども園 | 神岡町沢田 467-1 | 0791-65-1569 |
| 社会福祉法人 認定こども園すみれこども園 | 揖保町西構 46-1 | 0791-67-0337 |
| 社会福祉法人 認定こども園心光こども園 | 新宮町仙正 187-4 | 0791-75-3318 |
| 社会福祉法人 認定こども園第一仏光こども園 | 揖保川町山津屋 67-2 | 0791-72-3240 |

| 施設名 | 所在地 | 電話番号 |
|------------------------|----------------|--------------|
| 社会福祉法人 認定こども園まあや学園 | 揖保川町二塚 385-1 | 0791-72-4630 |
| 社会福祉法人 認定こども園じょうせんこども園 | 御津町朝臣 130 | 079-322-1870 |
| たつの市立龍野小学校 | 龍野町上霞城 86-2 | 0791-63-1371 |
| たつの市立小宅小学校 | 龍野町日飼 105 | 0791-63-0279 |
| たつの市立揖西東小学校 | 揖西町清水新 9 | 0791-66-0020 |
| たつの市立揖西西小学校 | 揖西町住吉 142 | 0791-66-0021 |
| たつの市立揖保小学校 | 揖保町西構 67 | 0791-67-8500 |
| たつの市立誉田小学校 | 誉田町広山 580-1 | 0791-62-1529 |
| たつの市立神岡小学校 | 神岡町上横内 51 | 0791-65-0010 |
| たつの市立西栗栖小学校 | 新宮町鍛冶屋 252 | 0791-78-0344 |
| たつの市立東栗栖小学校 | 新宮町能地 284 | 0791-75-0104 |
| たつの市立香島小学校 | 新宮町香山 1160 | 0791-77-0009 |
| たつの市立新宮小学校 | 新宮町新宮 437 | 0791-75-0056 |
| たつの市立越部小学校 | 新宮町中野庄 197 | 0791-75-2303 |
| 播磨高原広域事務組合立播磨高原東小学校 | 新宮町光都 2 丁目 6-1 | 0791-58-0328 |
| たつの市立半田小学校 | 揖保川町新在家 166-2 | 0791-72-2281 |
| たつの市立神部小学校 | 揖保川町黍田 434 | 0791-72-3020 |
| たつの市立河内小学校 | 揖保川町金剛山 604 | 0791-72-2129 |
| たつの市立御津小学校 | 御津町釜屋 206 | 079-322-0020 |
| たつの市立龍野東中学校 | 龍野町日飼 100 | 0791-62-1117 |
| たつの市立龍野西中学校 | 揖西町小神 30 | 0791-62-3681 |
| たつの市立新宮中学校 | 新宮町宮内 426 | 0791-75-0079 |
| 播磨高原広域事務組合立播磨高原東中学校 | 新宮町光都 2 丁目 4-1 | 0791-58-0981 |
| たつの市立揖保川中学校 | 揖保川町正條 471 | 0791-72-2673 |
| たつの市立御津中学校 | 御津町朝臣 414 | 079-322-0550 |
| 兵庫県立播磨特別支援学校 | 揖西町中垣内乙 135-1 | 0791-66-0091 |
| 兵庫県立西はりま特別支援学校 | 新宮町光都 1 丁目 3-1 | 0791-59-8277 |
| 兵庫県立龍野高等学校 | 龍野町日山 554 | 0791-62-0886 |
| 兵庫県立龍野北高等学校 | 新宮町芝田 125-2 | 0791-75-2900 |
| たつの市立龍野図書館 | 龍野町本町 57-1 | 0791-62-0469 |
| たつの市立新宮図書館 | 新宮町宮内 75-1 | 0791-75-3332 |
| たつの市立揖保川図書館 | 揖保川町正條 354-1 | 0791-72-7666 |
| たつの市立御津図書館 | 御津町岩見 315-6 | 079-322-1007 |

| 施設名 | 所在地 | 電話番号 |
|--------------|--------------|--------------|
| 龍野子育てつどいの広場 | 龍野町富永 410-2 | 0791-62-9255 |
| 新宮子育てつどいの広場 | 新宮町新宮 430-1 | 0791-75-4646 |
| 揖保川子育てつどいの広場 | 揖保川町山津屋 19-1 | 0791-72-6577 |
| 御津子育てつどいの広場 | 御津町朝臣 38-1 | 079-322-2208 |
| 中央児童館 | 龍野町富永 1005-1 | 0791-63-5118 |
| はつらつセンター | 龍野町富永 410-2 | 0791-63-2112 |

※令和4年4月現在



【資料】

「子どもの読書活動に関するアンケート調査」

子どもの読書に関するアンケートの実施について

(1) 目的

たつの市における子どもの読書推進を図るため、「第2次たつの市子どもの読書活動推進計画」を策定するにあたり、子どもの読書活動の実態及び保護者の読書活動の意識を把握し、計画の策定に反映させるため、子どもの読書活動に関するアンケートを実施する。

(2) 調査対象及び調査方法

- ① 市内の小学校・中学校の児童・生徒に無記名回答で行う。
 - ・各学年1クラスに実施（実施するクラスは各校でそれぞれ選定）
- ② 就学前の子どもをもつ保護者
 - ・たつの市内の幼稚園・保育園（所）・こども園に通園する園児（4・5歳児）の保護者に、各園を通じてアンケート用紙を配付し、保護者記入の上、各園で回収して図書館に提出する。

(3) アンケートの種類

- ・小学校低学年用（小学1・2年生）
- ・小学校中学年用（小学3・4年生）
- ・小学校高学年用（小学5・6年生）
- ・中学生用（1～3年生）
- ・就学前の子どもをもつ保護者用
（幼稚園・保育園（所）・こども園の4・5歳児の保護者）

(4) アンケート調査の内容

- ① 読書に対する意識（読書が好きか嫌いか）
- ② 読書量
- ③ 本を読む理由、読まない理由
- ④ 図書館の利用状況（学校図書館・公立図書館）
- ⑤ 家庭での読書環境
- ⑥ 就学前の子どもの保護者の読書に対する意識と子どもの状況

(5) 実施時期

令和3年10月

(6) アンケート調査数

| 対 象 | | 調査人数 (人) |
|------------------------|----------|----------|
| 小学校 (17校) | 1・2年生 | 712 |
| | 3・4年生 | 788 |
| | 5・6年生 | 798 |
| 中学校 (6校) | 1・2・3年生 | 516 |
| 幼稚園・保育園 (所)・こども園 (31園) | 4・5歳児保護者 | 1,043 |
| 合計 | | 3,857 |

(7) アンケート結果

※構成比の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100%とならない場合があります。

【1・2年生】

| 質問項目・回答 | | 人数 (人) | 構成比 (%) |
|---------|--------------|--------|---------|
| 問1 | 本を読むのが好きですか？ | | |
| ア | 好き | 436 | 61.2 |
| イ | どちらかという好き | 168 | 23.6 |
| ウ | どちらかという嫌い | 62 | 8.7 |
| エ | 嫌い | 39 | 5.5 |
| | 無効回答 | 7 | 1.0 |
| | 合計 | 712 | 100 |

| | | | |
|----|---------------------------------------|-----|------|
| 問2 | 問1で「好き」「どちらかという好き」と答えた人のうち、本が好きなのはなぜ？ | | |
| ア | 楽しいから、おもしろいから | 315 | 52.2 |
| イ | 色々なことが分かるから | 250 | 41.4 |
| ウ | 先生や家の人を読んでくれるから | 25 | 4.1 |
| エ | 友達が読んでいたから | 13 | 2.2 |
| | 無効回答 | 1 | 0.2 |
| | 合計 | 604 | 100 |

| | | | |
|----|---------------------------------------|-----|------|
| 問3 | 問1で「どちらかという嫌い」「嫌い」と答えた人のうち、本が嫌いなのはなぜ？ | | |
| ア | 楽しくないから、おもしろくないから | 7 | 6.9 |
| イ | 外で遊ぶ方が楽しい | 23 | 22.8 |
| ウ | テレビ(ゲーム)を見るのが楽しい | 36 | 35.6 |
| エ | 読みたい本がないから | 15 | 14.9 |
| オ | 読むのが大変 | 17 | 16.8 |
| | 無効回答 | 3 | 3.0 |
| | 合計 | 101 | 100 |

| 問4 本をよく読みますか？ | | | |
|---------------|---------|-----|------|
| ア | よく読む | 278 | 39.0 |
| イ | 時々読む | 305 | 42.8 |
| ウ | あまり読まない | 86 | 12.1 |
| エ | 読まない | 30 | 4.2 |
| | 無効回答 | 13 | 1.8 |
| | 合計 | 712 | 100 |

| 問5 休み時間に学校の図書室に行きますか？ | | | |
|-----------------------|---------|-----|------|
| ア | よく行く | 54 | 7.6 |
| イ | 時々行く | 226 | 31.7 |
| ウ | あまり行かない | 182 | 25.6 |
| エ | 行かない | 245 | 34.4 |
| | 無効回答 | 5 | 0.7 |
| | 合計 | 712 | 100 |

| 問6 問5で「あまり行かない」「行かない」と答えた人で、行かないのはなぜ？ | | | |
|---------------------------------------|---------------|-----|------|
| ア | 読みたい本がない | 37 | 8.7 |
| イ | 行きたいときに開いていない | 63 | 14.8 |
| ウ | 休み時間は遊びたい | 273 | 63.9 |
| エ | 本が嫌い | 17 | 4.0 |
| | 無効回答 | 37 | 8.7 |
| | 合計 | 427 | 100 |

| 問7 たつの市の図書館に行きますか？ | | | |
|--------------------|---------|-----|------|
| ア | よく行く | 156 | 21.9 |
| イ | 時々行く | 231 | 32.4 |
| ウ | あまり行かない | 143 | 20.1 |
| エ | 行かない | 177 | 24.9 |
| | 無効回答 | 5 | 0.7 |
| | 合計 | 712 | 100 |

| 問8 問7で「あまり行かない」「行かない」と答えた人で、行かないのはなぜ？ | | | |
|---------------------------------------|-------------|-----|------|
| ア | 読みたい本がない | 36 | 11.3 |
| イ | 1人ではいけない | 141 | 44.1 |
| ウ | ほかにしたいことがある | 123 | 38.4 |
| エ | 本が嫌い | 11 | 3.4 |
| | 無効回答 | 9 | 2.8 |
| | 合計 | 320 | 100 |

| 問 9 家の人に本を読んでもらうことはありますか？ | | | |
|---------------------------|-------------|-----|------|
| ア | よく読んでもらう | 139 | 19.5 |
| イ | 時々読んでもらう | 194 | 27.2 |
| ウ | あまり読んでもらわない | 113 | 15.9 |
| エ | 読んでもらわない | 261 | 36.7 |
| | 無効回答 | 5 | 0.7 |
| | 合計 | 712 | 100 |

【3・4年生】

| 質問項目・回答 | | 人数（人） | 構成比（%） |
|------------------|-----------|-------|--------|
| 問 1 本を読むのが好きですか？ | | | |
| ア | 好き | 342 | 43.4 |
| イ | どちらかという好き | 261 | 33.1 |
| ウ | どちらかという嫌い | 132 | 16.8 |
| エ | 嫌い | 52 | 6.6 |
| | 無効回答 | 1 | 0.1 |
| | 合計 | 788 | 100 |

| | | | |
|-------------------------------------------|-----------------|-----|------|
| 問 2 問1で「好き」「どちらかという好き」と答えた人のうち、本が好きなのはなぜ？ | | | |
| ア | 楽しいから、おもしろいから | 322 | 53.4 |
| イ | 色々なことが分かるから | 217 | 36.0 |
| ウ | 先生や家の人にすすめられたから | 19 | 3.2 |
| エ | 友達が読んでいたから | 35 | 5.8 |
| | 無効回答 | 10 | 1.7 |
| | 合計 | 603 | 100 |

| | | | |
|-------------------------------------------|-------------------|-----|------|
| 問 3 問1で「どちらかという嫌い」「嫌い」と答えた人のうち、本が嫌いなのはなぜ？ | | | |
| ア | 楽しくないから、おもしろくないから | 9 | 4.9 |
| イ | 外で遊ぶ方が楽しい | 70 | 38.0 |
| ウ | テレビ（ゲーム）を見るのが楽しい | 54 | 29.3 |
| エ | 読みたい本がないから | 23 | 12.5 |
| オ | 読むのが大変 | 14 | 7.6 |
| | 無効回答 | 14 | 7.6 |
| | 合計 | 184 | 100 |

| 問 4 1か月にどれくらい本を読みますか？ | | | |
|-----------------------|-------|-----|------|
| ア | 10冊以上 | 227 | 28.8 |
| イ | 5～9冊 | 179 | 22.7 |
| ウ | 1～4冊 | 326 | 41.4 |
| エ | 読まない | 53 | 6.7 |
| | 無効回答 | 3 | 0.4 |
| | 合計 | 788 | 100 |

| 問 5 1日に本を読む時間はどれくらいですか？ | | | |
|-------------------------|-------------|-----|------|
| ア | 1時間以上 | 70 | 8.9 |
| イ | 30分以上～1時間未満 | 123 | 15.6 |
| ウ | 30分未満 | 222 | 28.2 |
| エ | 10分以内 | 261 | 33.1 |
| オ | 読まない | 104 | 13.2 |
| | 無効回答 | 8 | 1.0 |
| | 合計 | 788 | 100 |

| 問 6 休み時間に学校の図書室に行きますか？ | | | |
|------------------------|---------|-----|------|
| ア | よく行く | 56 | 7.1 |
| イ | 時々行く | 286 | 36.3 |
| ウ | あまり行かない | 230 | 29.2 |
| エ | 行かない | 213 | 27.0 |
| | 無効回答 | 3 | 0.4 |
| | 合計 | 788 | 100 |

| 問 7 問6で「あまり行かない」「行かない」と答えた人で、行かないのはなぜ？ | | | |
|----------------------------------------|---------------|-----|------|
| ア | 読みたい本がない | 80 | 18.1 |
| イ | 行きたいときに開いていない | 45 | 10.2 |
| ウ | 休み時間は遊びたい | 285 | 64.3 |
| エ | 本が嫌い | 24 | 5.4 |
| | 無効回答 | 9 | 2.0 |
| | 合計 | 443 | 100 |

| 問 8 たつの市の図書館に行きますか？ | | | |
|---------------------|---------|-----|------|
| ア | よく行く | 115 | 14.6 |
| イ | 時々行く | 279 | 35.4 |
| ウ | あまり行かない | 202 | 25.6 |
| エ | 行かない | 184 | 23.4 |
| | 無効回答 | 8 | 1.0 |
| | 合計 | 788 | 100 |

| 問 9 問 8 で「あまり行かない」「行かない」と答えた人で、行かないのはなぜ？ | | | |
|------------------------------------------|-------------|-----|------|
| ア | 読みたい本がない | 30 | 7.8 |
| イ | 1人ではいけない | 198 | 51.3 |
| ウ | ほかにしたいことがある | 131 | 33.9 |
| エ | 本が嫌い | 21 | 5.4 |
| | 無効回答 | 6 | 1.6 |
| | 合計 | 386 | 100 |

| 問 10 小さいころ家の人に本を読んでもらいましたか？ | | | |
|-----------------------------|--------------|-----|------|
| ア | よく読んでもらった | 396 | 50.3 |
| イ | 時々読んでもらった | 235 | 29.8 |
| ウ | あまり読んでもらってない | 85 | 10.8 |
| エ | 読んでもらったことがない | 68 | 8.6 |
| | 無効回答 | 4 | 0.5 |
| | 合計 | 788 | 100 |

【5・6年生】

| 質問項目・回答 | | 人数（人） | 構成比（%） |
|------------------|-------------|-------|--------|
| 問 1 本を読むのが好きですか？ | | | |
| ア | 好き | 255 | 32.0 |
| イ | どちらかというとき好き | 295 | 37.0 |
| ウ | どちらかというとき嫌い | 182 | 22.8 |
| エ | 嫌い | 54 | 6.8 |
| | 無効回答 | 12 | 1.5 |
| | 合計 | 798 | 100 |

| 問 2 問 1 で「好き」「どちらかというとき好き」と答えた人のうち、本が好きなのはなぜ？ | | | |
|-----------------------------------------------|-----------------|-----|------|
| ア | 楽しいから、おもしろいから | 318 | 57.8 |
| イ | 色々なことが分かるから | 184 | 33.5 |
| ウ | 先生や家の人にすすめられたから | 23 | 4.2 |
| エ | 友達が読んでいたから | 24 | 4.4 |
| | 無効回答 | 1 | 0.2 |
| | 合計 | 550 | 100 |

| 問3 問1で「どちらかという嫌い」「嫌い」と答えた人のうち、本が嫌いなのはなぜ？ | | | |
|------------------------------------------|-------------------|-----|------|
| ア | 楽しくないから、おもしろくないから | 11 | 4.7 |
| イ | 外で遊ぶ方が楽しい | 81 | 34.3 |
| ウ | テレビ（ゲーム）を見るのが楽しい | 86 | 36.4 |
| エ | 読みたい本がないから | 36 | 15.3 |
| オ | 読むのが大変 | 18 | 7.6 |
| | 無効回答 | 4 | 1.7 |
| | 合計 | 236 | 100 |

| 問4 1か月にどれくらい本を読みますか？ | | | |
|----------------------|-------|-----|------|
| ア | 10冊以上 | 131 | 16.4 |
| イ | 5～9冊 | 138 | 17.3 |
| ウ | 1～4冊 | 448 | 56.1 |
| エ | 読まない | 64 | 8.0 |
| | 無効回答 | 17 | 2.1 |
| | 合計 | 798 | 100 |

| 問5 1日に本を読む時間はどれくらいですか？ | | | |
|------------------------|-------------|-----|------|
| ア | 1時間以上 | 75 | 9.4 |
| イ | 30分以上～1時間未満 | 128 | 16.0 |
| ウ | 30分未満 | 199 | 24.9 |
| エ | 10分以内 | 223 | 27.9 |
| オ | 読まない | 157 | 19.7 |
| | 無効回答 | 16 | 2.0 |
| | 合計 | 798 | 100 |

| 問6 休み時間に学校の図書室に行きますか？ | | | |
|-----------------------|---------|-----|------|
| ア | よく行く | 56 | 7.0 |
| イ | 時々行く | 264 | 33.1 |
| ウ | あまり行かない | 227 | 28.4 |
| エ | 行かない | 234 | 29.3 |
| | 無効回答 | 17 | 2.1 |
| | 合計 | 798 | 100 |

| 問7 問6で「あまり行かない」「行かない」と答えた人で、行かないのはなぜ？ | | | |
|---------------------------------------|---------------|-----|------|
| ア | 読みたい本がない | 120 | 26.0 |
| イ | 行きたいときに開いていない | 21 | 4.6 |
| ウ | 休み時間は遊びたい | 290 | 62.9 |
| エ | 本が嫌い | 23 | 5.0 |
| | 無効回答 | 7 | 1.5 |
| | 合計 | 461 | 100 |

| 問8 たつの市の図書館に行きますか？ | | | |
|--------------------|---------|-----|------|
| ア | よく行く | 63 | 7.9 |
| イ | 時々行く | 242 | 30.3 |
| ウ | あまり行かない | 260 | 32.6 |
| エ | 行かない | 218 | 27.3 |
| | 無効回答 | 15 | 1.9 |
| | 合計 | 798 | 100 |

| 問9 問8で「あまり行かない」「行かない」と答えた人で、行かないのはなぜ？ | | | |
|---------------------------------------|-------------|-----|------|
| ア | 読みたい本がない | 77 | 16.1 |
| イ | 1人ではいけない | 188 | 39.3 |
| ウ | ほかにしたいことがある | 187 | 39.1 |
| エ | 本が嫌い | 22 | 4.6 |
| | 無効回答 | 4 | 0.8 |
| | 合計 | 478 | 100 |

| 問10 小さいころ家の人に本を読んでもらいましたか？ | | | |
|----------------------------|--------------|-----|------|
| ア | よく読んでもらった | 385 | 48.2 |
| イ | 時々読んでもらった | 257 | 32.2 |
| ウ | あまり読んでもらってない | 96 | 12.0 |
| エ | 読んでもらったことがない | 44 | 5.5 |
| | 無効回答 | 16 | 2.0 |
| | 合計 | 798 | 100 |

【中学生】

| 質問項目・回答 | | 人数（人） | 構成比（％） |
|------------------|------------|-------|--------|
| 問 1 本を読むのが好きですか？ | | | |
| ア | 好き | 175 | 33.9 |
| イ | どちらかというが好き | 184 | 35.7 |
| ウ | どちらかという嫌い | 109 | 21.1 |
| エ | 嫌い | 47 | 9.1 |
| | 無効回答 | 1 | 0.2 |
| | 合計 | 516 | 100 |

| | | | |
|----------------------------------------------|-----------------|-----|------|
| 問 2 問 1 で「好き」「どちらかというが好き」と答えた人のうち、本が好きなのはなぜ？ | | | |
| ア | 楽しいから、おもしろいから | 252 | 70.2 |
| イ | 色々なことが分かるから | 79 | 22.0 |
| ウ | 先生や家の人にすすめられたから | 12 | 3.3 |
| エ | 友達が読んでいたから | 15 | 4.2 |
| | 無効回答 | 1 | 0.3 |
| | 合計 | 359 | 100 |

| | | | |
|---------------------------------------------|-------------------|-----|------|
| 問 3 問 1 で「どちらかという嫌い」「嫌い」と答えた人のうち、本が嫌いなのはなぜ？ | | | |
| ア | 楽しくないから、おもしろくないから | 20 | 12.8 |
| イ | 外で遊ぶ方が楽しい | 41 | 26.3 |
| ウ | テレビ（ゲーム）を見るのが楽しい | 66 | 42.3 |
| エ | 読みたい本がないから | 28 | 17.9 |
| | 無効回答 | 1 | 0.6 |
| | 合計 | 156 | 100 |

| | | | |
|------------------------|--------|-----|------|
| 問 4 1 か月にどれくらい本を読みますか？ | | | |
| ア | 10 冊以上 | 26 | 5.0 |
| イ | 5～9 冊 | 62 | 12.0 |
| ウ | 1～4 冊 | 352 | 68.2 |
| エ | 0 冊 | 74 | 14.3 |
| | 無効回答 | 2 | 0.4 |
| | 合計 | 516 | 100 |

| 問 5 1日に本を読む時間はどれくらいですか？ | | | |
|-------------------------|-------------|-----|------|
| ア | 1時間以上 | 39 | 7.6 |
| イ | 30分以上～1時間未満 | 75 | 14.5 |
| ウ | 30分未満 | 136 | 26.4 |
| エ | 10分以内 | 94 | 18.2 |
| オ | 読まない | 171 | 33.1 |
| | 無効回答 | 1 | 0.2 |
| | 合計 | 516 | 100 |

| 問 6 休み時間に学校の図書室に行きますか？ | | | |
|------------------------|---------|-----|------|
| ア | よく行く | 11 | 2.1 |
| イ | 時々行く | 47 | 9.1 |
| ウ | あまり行かない | 63 | 12.2 |
| エ | 行かない | 395 | 76.6 |
| | 無効回答 | 0 | 0.0 |
| | 合計 | 516 | 100 |

| 問 7 問6で「あまり行かない」「行かない」と答えた人で、行かないのはなぜ？ | | | |
|----------------------------------------|---------------|-----|------|
| ア | 読みたい本がない | 99 | 21.6 |
| イ | 行きたいときに開いていない | 41 | 9.0 |
| ウ | 他にしたいことがある | 284 | 62.0 |
| エ | 本が嫌い | 22 | 4.8 |
| | 無効回答 | 12 | 2.6 |
| | 合計 | 458 | 100 |

| 問 8 たつの市の図書館に行きますか？ | | | |
|---------------------|---------|-----|------|
| ア | よく行く | 27 | 5.2 |
| イ | 時々行く | 109 | 21.1 |
| ウ | あまり行かない | 143 | 27.7 |
| エ | 行かない | 233 | 45.2 |
| | 無効回答 | 4 | 0.8 |
| | 合計 | 516 | 100 |

| 問 9 問8で「あまり行かない」「行かない」と答えた人で、行かないのはなぜ？ | | | |
|----------------------------------------|------------|-----|------|
| ア | 読みたい本がない | 84 | 22.3 |
| イ | 他にしたいことがある | 186 | 49.5 |
| ウ | 本が嫌い | 17 | 4.5 |
| エ | その他 | 74 | 19.7 |
| | 無効回答 | 15 | 4.0 |
| | 合計 | 376 | 100 |

| 問 10 小さいころ家の人に本を読んでもらいましたか？ | | | |
|-----------------------------|--------------|-----|------|
| ア | よく読んでもらった | 233 | 45.2 |
| イ | 時々読んでもらった | 183 | 35.5 |
| ウ | あまり読んでもらってない | 63 | 12.2 |
| エ | 読んでもらったことがない | 32 | 6.2 |
| | 無効回答 | 5 | 1.0 |
| | 合計 | 516 | 100 |

| 問 11 読書をする時間が取れない理由はなんですか？ | | | |
|----------------------------|---------------------------|-----|------|
| ア | 部活 | 136 | 26.4 |
| イ | 塾 | 83 | 16.1 |
| ウ | 習い事 | 45 | 8.7 |
| エ | テレビ、DVD、インターネット、スマホ、ゲームなど | 147 | 28.5 |
| オ | 家事や手伝い | 12 | 2.3 |
| カ | 読書の時間は取れている | 88 | 17.1 |
| | 無効回答 | 5 | 1.0 |
| | 合計 | 516 | 100 |

| 問 12 1日のうちで、テレビやDVD、インターネット、スマートフォン、ゲームなどをする時間はどれくらいですか？（土日も含めて平均で） | | | |
|---------------------------------------------------------------------|-------------|-----|------|
| ア | 1時間未満 | 48 | 9.3 |
| イ | 1時間以上～2時間未満 | 129 | 25.0 |
| ウ | 2時間以上～3時間未満 | 163 | 31.6 |
| エ | 3時間以上～4時間未満 | 81 | 15.7 |
| オ | 4時間以上 | 90 | 17.4 |
| | 無効回答 | 5 | 1.0 |
| | 合計 | 516 | 100 |

【保護者】

| 質問項目・回答 | | 人数（人） | 構成比（％） |
|---------|---------------------------------|-------|--------|
| 問 1 | 読書（読み聞かせ）は子どもの健やかな成長に重要だと思いますか？ | | |
| ア | とても重要 | 623 | 59.7 |
| イ | ある程度重要 | 404 | 38.7 |
| ウ | あまり重要ではない | 11 | 1.1 |
| エ | 重要ではない | 2 | 0.2 |
| | 無効回答 | 3 | 0.3 |
| | 合計 | 1,043 | 100 |

| 問 2 お子様に読み聞かせをしていますか？ | | | |
|-----------------------|------------|-------|------|
| ア | ほぼ毎日している | 176 | 16.9 |
| イ | 週に3～4回している | 190 | 18.2 |
| ウ | 週に1～2回している | 401 | 38.4 |
| エ | していない | 274 | 26.3 |
| | 無効回答 | 2 | 0.2 |
| | 合計 | 1,043 | 100 |

| 問 3 問2で「週に1～2回している」「していない」と答えた人のうち、その理由は？ | | | |
|-------------------------------------------|------------------|-----|------|
| ア | 忙しくて時間がないから | 454 | 67.3 |
| イ | 読んでやってもあまり聞かないから | 77 | 11.4 |
| ウ | 読んでやらなくてもいいと思うから | 4 | 0.6 |
| エ | 子どもが自分で読むから | 125 | 18.5 |
| | 無効回答 | 15 | 2.2 |
| | 合計 | 675 | 100 |

| 問 4 お子様は本（読み聞かせも含む）が好きだと思いますか？ | | | |
|--------------------------------|-----------|-------|------|
| ア | とても好き | 387 | 37.1 |
| イ | 好き | 562 | 53.9 |
| ウ | あまり好きではない | 89 | 8.5 |
| エ | 嫌い | 0 | 0.0 |
| | 無効回答 | 5 | 0.5 |
| | 合計 | 1,043 | 100 |

| 問 5 子どもの本を借りるために、公共図書館（たつの市立図書館等）へ行きますか？ | | | |
|------------------------------------------|----------|-------|------|
| ア | よく行く | 152 | 14.6 |
| イ | ときどき行く | 338 | 32.4 |
| ウ | ほとんど行かない | 323 | 31.0 |
| エ | 行ったことがない | 224 | 21.5 |
| | 無効回答 | 6 | 0.6 |
| | 合計 | 1,043 | 100 |

| 問 6 問5で「ほとんど行かない」「行ったことがない」と答えた人のうち、その理由は？ | | | |
|--------------------------------------------|-------------|-----|------|
| ア | 読ませたい本がないから | 5 | 0.9 |
| イ | 時間がないから | 230 | 42.0 |
| ウ | 本は買っているから | 216 | 39.5 |
| エ | 図書館に関心がないから | 73 | 13.3 |
| | 無効回答 | 23 | 4.2 |
| | 合計 | 547 | 100 |

| 問 7 お子様の通う所園では、地域のボランティアによる読み聞かせがありますか？ | | | |
|-----------------------------------------|-------|-------|------|
| ア | ある | 193 | 18.5 |
| イ | ない | 127 | 12.2 |
| ウ | わからない | 708 | 67.9 |
| | 無効回答 | 15 | 1.4 |
| | 合計 | 1,043 | 100 |

| 問 8 ボランティアによる読み聞かせの機会があれば、利用しますか？ | | | |
|-----------------------------------|--------------|-------|------|
| ア | ぜひ、利用したい | 186 | 17.8 |
| イ | 都合がつけば、利用したい | 735 | 70.5 |
| ウ | 利用しない | 109 | 10.5 |
| | 無効回答 | 13 | 1.2 |
| | 合計 | 1,043 | 100 |

(目的)

第一条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

(基本理念)

第二条 子ども（おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

(国の責務)

第三条 国は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第四条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(事業者の努力)

第五条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

(保護者の役割)

第六条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

(関係機関等との連携強化)

第七条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

(子ども読書活動推進基本計画)

第八条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「子ども読書活動推進基本計画」という。）を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。
（都道府県子ども読書活動推進計画等）

第九条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

（子ども読書の日）

第十条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、四月二十三日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

（財政上の措置等）

第十一条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附 則

この法律は、公布の日から施行する。

○ 衆議院文部科学委員会における附帯決議

政府は、本法施行に当たり、次の事項について配慮すべきである。

- 一 本法は、子どもの自主的な読書活動が推進されるよう必要な施策を講じて環境を整備していくものであり、行政が不当に干渉することのないようにすること。
- 二 民意を反映し、子ども読書活動推進基本計画を速やかに策定し、子どもの読書活動の推進に関する施策の確立とその具体化に努めること。
- 三 子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、本と親しみ、本を楽しむことができる環境づくりのため、学校図書館、公共図書館等の整備充実に努めること。
- 四 学校図書館、公共図書館等が図書を購入するに当たっては、その自主性を尊重すること。
- 五 子どもの健やかな成長に資する書籍等については、事業者がそれぞれの自主的判断に基づき提供に努めるようにすること。
- 六 国及び地方公共団体が実施する子ども読書の日趣旨にふさわしい事業への子どもの参加については、その自主性を尊重すること。

第2次たつの市子どもの読書活動推進計画

発行年：令和4年（2022年）4月

発行：たつの市

編集：たつの市教育委員会

〒679-4167

兵庫県たつの市龍野町富永 1005-1

電話 0791-64-3180

FAX 0791-63-3883

URL <https://www.city.tatsuno.lg.jp/>